MZK-SA300N2

User's Manual

目次

第 1 章 安全上のご注意 5
1.1 本製品を安全にご利用いただくために 5
第 2 章 はじめに 13
2.1 本製品の特長 13
2.2 同梱物 15
2.3 各部の名称とはたらき 16
2.4 工場出荷時の設定値 20
2.5 セキュリティスイッチについて 21
第 3 章：インターネットの設定 22
第 4 章：本製品に無線 LAN で接続する 23
第 5 章：本製品を使いこなす 24
5.1 設定画面の表示方法 24
5.2 無線 LAN セキュリティを変更する 34
5.3 マルチ SSID を設定する 40
5.4 SSID を非表示にする 44
5. 5 WDS の設定 45
第 6 章：詳細設定 53
6.1 ネットワーク関連の設定 54
6.1.1 LAN 設定 54
6.2 無線 LAN 関連の設定 57
6.2.1 基本設定 58
6.2.2 アクセスコントロール設定 62
6.2.3 WPS の設定 65
6.2.4 グリーン AP の設定 72
6.3 システム管理関連 74
6.3.1 ユーザ名・パスワードの変更 75
6.3.2 時刻設定 78
6.3.3 ファームウェア更新 82
6.3.4 バックアップ／リストア 85
6.3.5 初期化 88
6.3.6 システムログ 90
6.3.7 再起動 92
6.4 ステータス関連 94
6.4.1 ステータス 94
第 7 章：困ったときは 96
7.1 トラブルシューティング 96
7.2 初期化の方法 98

7.3 IP アドレスの設定......99
7.3.1　自動設定......100
7.3.2　手動設定......111
第 8 章：製品仕様......122
第 9 章：お問合せ先......124
第 10 章：索引......126

第 1 章 安全上のご注意

1.1 本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、**「感電」「火災」「故障」**などが発生する場合があります。
これによって人が負傷されたり、死亡につながる 恐れがあります。また、万一**「発火」「発煙」「溶解」**などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

⚠警告 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、死亡につながる恐れが想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、物的損傷を引き起こす恐れが想定される内容を示しています。

⚠警告	
	電源は AC100V(50 ／ 60Hz)以外では絶対に使用しないでください。 本製品と本製品の定格電力ラベルに記載されている電圧・電流のものをお使いください。異なる電圧・電流でご使用すると発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因となります。
	必ず付属の専用 AC アダプタ(または電源ケーブル)を使用してください。 本製品付属以外の AC アダプタ(または電源ケーブル)の使用は発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障のなどの原因となります。
	AC アダプタ(または電源ケーブル)の取り扱いを守ってください。 AC アダプタ(または電源ケーブル)に加熱や無理な曲げ、引っ張ったりするなどといった行為はしないでください。発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因となります。また、AC アダプタ(または電源ケーブル)を抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
	動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。 範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
	本製品を分解、改造しないでください。 感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。また改造は法律で禁止されています。

強制指示	**コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは直ちに取り除いてください。** そのまま使用することで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
水濡禁止	**本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。** 本製品に液体がこぼれることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
プラグを抜く	**煙が出たり、異臭がしたら直ちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。** そのまま使用することで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
濡手禁止	**本製品を濡れた手で触れないでください。また事前に指輪、腕時計などの装身具を外しておいてください。** これらの状態で本製品に触れると感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
禁 止	**本製品を重ねて設置しないでください。** 本製品が加熱し、感電、火災、または本製品の誤作動、故障などの原因となります。
触手禁止	**雷のときは本製品や接続されているケーブル等に触れないでください。** 落雷による感電の原因になります。
強制指示	**本製品は一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。** 本製品は、物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
禁 止	**金融機器、医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。**

⚠注意	
 禁 止	本製品を次のような場所での使用や保管はしないでください。 ● 直射日光の当たる場所 ● 暖房器具の近くなどの高温になる場所 ● 温度変化の激しい場所 ● 湿気やほこりの多い場所 ● 振動の多い場所や不安定な場所 ● 静電気が多く発生する場所 ● 油煙や湯気があたる場所 ● 腐食性ガスの発生する場所 ● 壁の中などお手入れが不可能な場所 ● 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
 禁 止	**本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。** 本製品の誤作動、故障などの原因となります。
 プラグを抜く	**移動させるときは AC アダプタ(または電源ケーブル)を外してください。** 必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してください。
 強制指示	お手入れの際は以下の内容に注意してください。 ● 電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないでください。
 強制指示	**定期的にデータのバックアップを行ってください。** 本製品のご利用にかかわらず、パソコンのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し、不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったときの回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。
 禁 止	**RJ-45 ポートのある製品は、以下の内容に注意してください。** RJ-45 ポートには電話線コネクタを差し込まないでください。本製品が損傷する場合があります。

■無線製品に関して

本製品を下記のような状況でご使用になるのはおやめください。

- 本製品を心臓ペースメーカーや補聴器など医療機器の近くや医療機関の中でのご使用はおやめください。電磁障害を及ぼし生命の危険があります。
- 本製品を交通機関内、特に航空機の中でのご使用はおやめください。機内での電子機器や無線機器の利用が禁止されており、航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因になる恐れがあります。
- 本製品を電子レンジの近くでのご使用はおやめください。電子レンジをご使用のとき、電磁波の影響によって、無線通信が妨害される恐れがあります。

■電波に関して

本製品の無線 LAN の周波数帯は、医療機器や電子レンジなどの産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。

- 本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。
- その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など、何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
- 本製品の電波の種類と干渉距離について

2.4 DS/OF 4

■■■

2.4 :2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。

DSOF :DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。

4 :想定される干渉距離が 40m 以下を表します。

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

■ご利用上の注意

- 接続においては、IEEE802.11n(2.4GHz 帯)または IEEE802.11g、IEEE802.11b 無線 LAN その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用した場合に接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- 5.2GHz 帯を屋外で使用することは、電波法により禁止されています。IEEE802.11a は屋外で使用することはできませんのでご注意ください。
- 本書内に記載されている無線 LAN 規格における数値は理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本製品はすべての無線 LAN 機器との接続動作を確認したものではありません。
- 弊社は、無線機器によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につき、一切の責任を負いません。
- Bluetooth と無線 LAN は同じ 2.4GHz 帯の無線周波数を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。

■無線 LAN におけるセキュリティに関するご注意

お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。ただし、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があり、また無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サ

ポートセンターまでお問い合わせください。セキュリティ対策を施さず、あるいは無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

1.2 おことわり

■ご注意

- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏洩、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品のパッケージ等に記載されている性能値(スループット)は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア(ファームウェア)、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品内部のソフトウェア(ファームウェア)更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合がありますので、通信事業者との契約内容をご確認ください。
- 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- 本製品は日本の国内法(電気用品安全法・電波法等)のもとで利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

■著作権等

- ユーザーズ・マニュアルに関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社に帰属します。ユーザーズ・マニュアルの記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ユーザーズ・マニュアルの記述に関する、不明な点や誤りなどございましたら、弊社までご連絡ください。
- ユーザーズ・マニュアルの記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

■電波に関するご注意

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信妨害を起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■RoHS 対応

生産から廃棄処分にいたる製品のライフサイクルにおいて、人の健康や環境への負荷を最小限に抑えることを目的とし、プラネックスコミュニケーションズでは、EU（ 欧州連合） の RoHS 指令準拠を始めとし、環境汚染物質の削減を積極的に進めております。

第 2 章 はじめに

2.1 本製品の特長

✧ **既存の有線ルータに接続して簡単に自宅を Wi-Fi 化**

現在お使いの有線ルータと LAN 接続するだけで簡単に自宅を Wi-Fi 化できます。手のひらに収まるコンパクトサイズなので家中どこでも設置場所を選びません。300Mbps の高速通信に対応しているので様々な機器でインターネットを快適に楽しむことができます。

➢ iPhone / iPad などスマートフォンを Wi-Fi 接続！

➢ ホテルの LAN ポートに挿すだけで Wi-Fi 環境を構築！

➢ ゲーム機をつないでコンテンツをダウンロード！

✧ **セキュリティ設定をスイッチでワンタッチ切り替え可能**

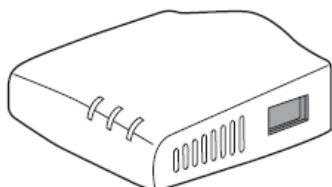
本製品背面にあるスイッチを使用して、SSID 間の通信をコントロールすることができます。 次のような環境でスイッチを切り換えて Separate mode(セパレートモード)を変更できます。面倒なブラウザ経由での設定は不要です。

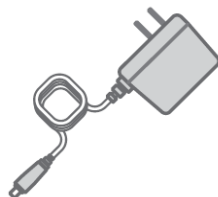
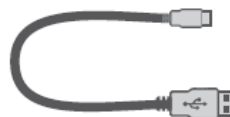
✧ **洗練されたデザイン　＜Designed by MID MILANO Design＞**

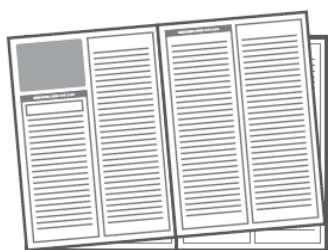
イタリアのデザイナーが手がけたボディーは、柔らかいフォルムと光沢のあるカラーで高級感が漂う洗練されたデザイン。リビングやデジタル家電の近くにおいても部屋全体の美観を損ないません。

2.2 同梱物

パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

☐ MZK-SA300N2（本製品）

☐ LAN ケーブル

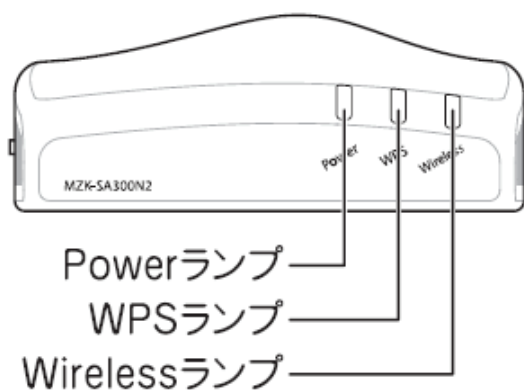
☐ AC アダプタ

☐ USB 電源ケーブル

（FFP-PKA03 には含まれません）

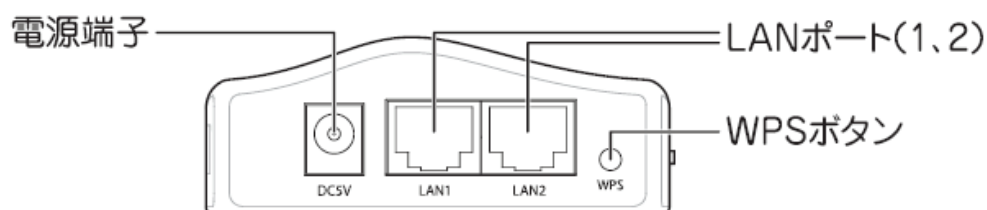
☐ スタートガイド
☐ 無線 LAN の暗号化を設定する

☐ 安全に関する説明書／保証書

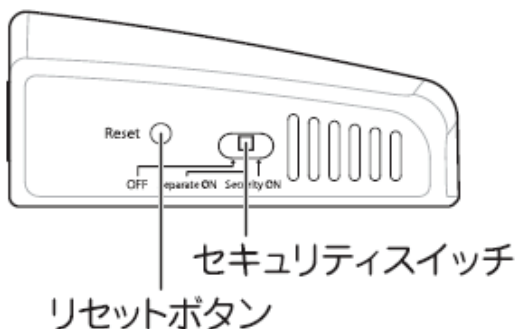
※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

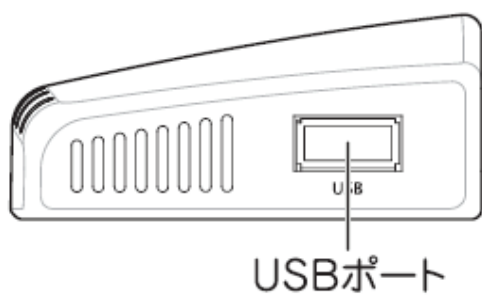
2.3 各部の名称とはたらき

本製品各部の名称について説明します。

本製品前面

名称	色	機能説明	
Power ランプ	緑	点灯	本製品の電源がオンの状態です。
		点滅	初期化を実行している状態です。
		消灯	本製品の電源がオフの状態です。
WPS ランプ	緑	点灯	WPS 接続を試みている状態です。
		消灯	WPS 接続が無効の状態です。
Wireless ランプ	緑	点滅	無線 LAN でデータを送受信している状態です。
		消灯	無線 LAN 機能が無効です。

本製品背面

名称	機能説明
電源端子	付属の AC アダプタを接続します。
LAN 1 ポート	ご使用のローカルエリアネットワークと接続します。
LAN 2 ポート	
WPS ボタン	WPS ボタンを 3 秒以上押して離すと、WPS（無線 LAN 簡単設定機能）接続が有効になります。 ※ 操作方法は、「スタートガイド」の「STEP 3」を参照してください。 ※ WPS 機能を使用すると、本製品の無線 LAN セキュリティの初期設定が書き換わる為、本紙記載の暗号化キーでは接続できません。1 台のパソコンで無線 LAN 接続にご使用ください。 ※ 複数台の機器を無線 LAN 接続する場合には、手動にて「SSID：ap-pc-●●●●●●」、「暗号化キー：12345678」をそれぞれ設定してください。

本製品左側面

名称	機能説明
Reset ボタン	本製品の設定情報を工場出荷時の状態に戻します。 （操作方法） 1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。 2. 本製品背面のリセットボタンを 10 秒以上長押しします。 3. 本製品前面の「Power」ランプが点滅したら、リセットボタンから手を離します。 4. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動したら初期化の完了です。
セキュリティスイッチ	SSID（ネットワーク名）間の通信をコントロールします。 使用方法は「2.5 セキュリティスイッチについて」を参照してください。

本製品右側面

名称	機能説明
USB ポート	※本製品では使用できません。

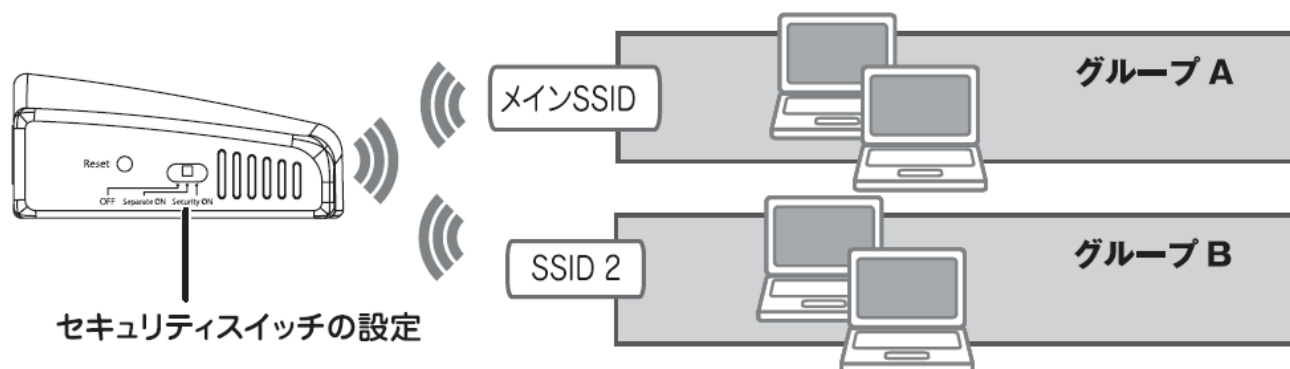
2.4 工場出荷時の設定値

本製品の工場出荷時の設定内容は以下のとおりです。

名称	設定値	
ユーザ名（ログイン ID）	admin	
パスワード	password	
IP アドレス	192.168.1.250 ※ルータに接続したときは、「XXX.XXX.XXX.250」の「XXX」が、お使いの環境に更新されます。	
ネットワーク名（SSID）	ドメイン名：sa.setup SSID 1：ap-pc-●●●●●● SSID 2：ap-game-●●●●●● （メイン SSID の無線 LAN セキュリティ）	ユーザ名：admin パスワード：password （マルチ SSID の無線 LAN セキュリティ）
暗号化キー	12345678	なし
認証方式	WPA2-PSK	–
暗号化方式	AES	–
キーフォーマット	パスフレーズ	–

※本製品背面のラベル内にある「SSID1」、「SSID2」をご確認ください。
※「●●●●●●」が製品ごとに異なります。

2.5 セキュリティスイッチについて

本製品背面にあるセキュリティスイッチを使用して、SSID 間の通信をコントロールすることができます。次のような環境でスイッチを切り換えて Separate mode（セパレートモード）に変更します。

OFF	SSID 間での通信が可能。グループ A/B 間の通信が可能です。
Separate ON	SSID 間での通信を遮断。グループ A/B 間の通信は不可能です。 同じ SSID 内での通信は可能です。（例：グループ A 内のパソコン同士）
Separate ON + Security ON	「Separate ON」の状態で、SSID の通知を無効にします。

第 3 章：インターネットの設定

ここでは、インターネットの接続設定を行います。

◆インターネットの設定は、付属の「スタートガイド」を参照し、設定を行ってください。

＜ポイント＞
お手元に「スタートガイド」がないときは、以下のページからダウンロードしてください。

http://www.planex.co.jp/support/download/wireless/mzk-sa300n2.shtml

第 4 章：本製品に無線 LAN で接続する

ここでは、無線 LAN の接続設定を行います。

◆パソコン・スマートフォン・ゲーム機を接続するときは、付属の「スタートガイド」を参照してください。

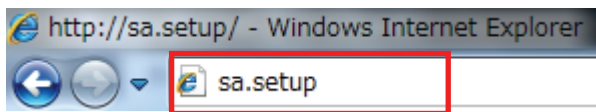
＜ポイント＞
お手元に「スタートガイド」がないときは、以下のページからダウンロードしてください。

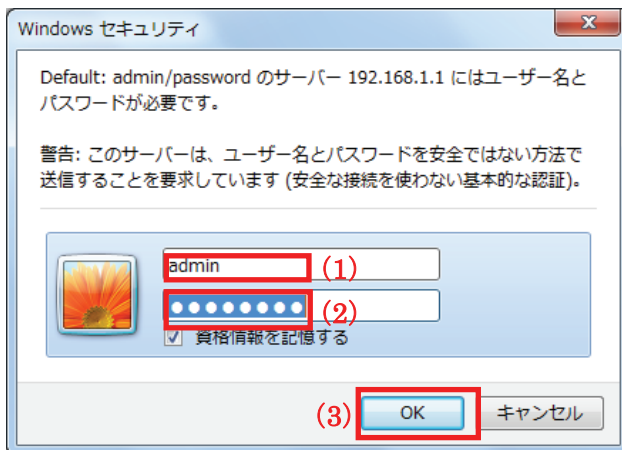
http://www.planex.co.jp/support/download/wireless/mzk-sa300n2.shtml

第 5 章：本製品を使いこなす

5.1　設定画面の表示方法

1.　WEB ブラウザを起動します。

2.　アドレス欄に IP アドレス「sa.setup」を入力し、<Enter>を押します。

※　アドレス欄に「192.168.1.250」と入力して、ログイン画面を表示するとこもできます。
※　お使いの環境により、WEB ブラウザが起動するまで時間がかかることがあります。
※　ログイン画面が表示されずに、エラー画面が表示されたり、検索ページに移行するときは、本製品の IP アドレスがお使いの環境に更新されています。次項の「本製品の IP アドレスを確認する」を参照してください。

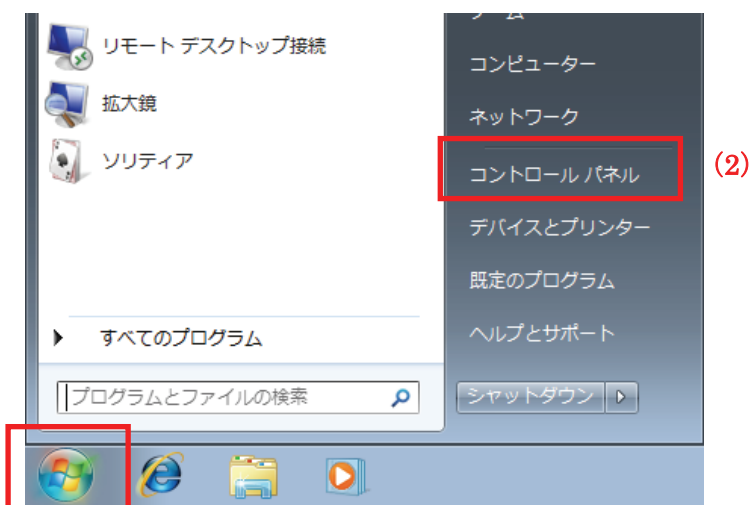
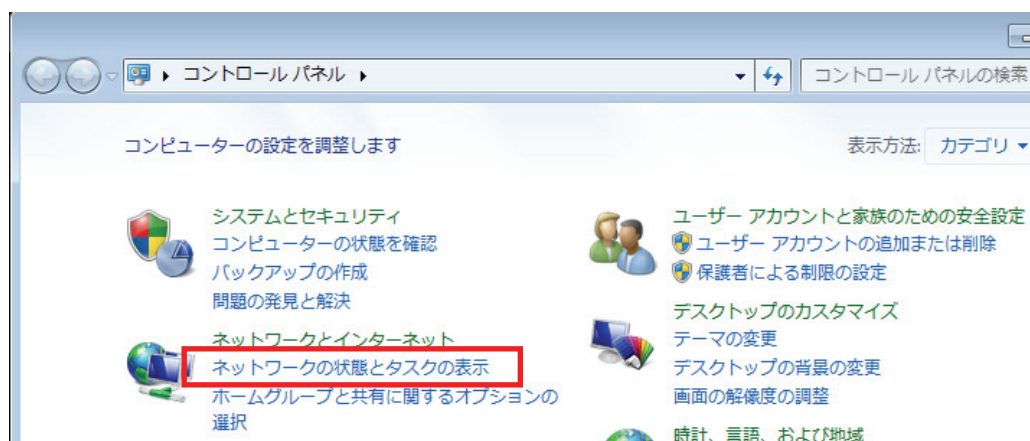
3.　ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
（1）ユーザ名：半角英数で「admin」（エー・ディー・エム・アイ・エヌ）を入力
（2）パスワード：半角英数で「password」（ピー・エー・エス・エス・ダブリュ・オー・アール・ディー）を入力
（3）［OK］をクリックします。

4.　本製品の WEB 設定画面のトップページが表示されます。

＜本製品の IP アドレスを確認する＞

お使いの環境に更新された本製品の IP アドレスを確認します。

■ Windows 7／Vista のとき

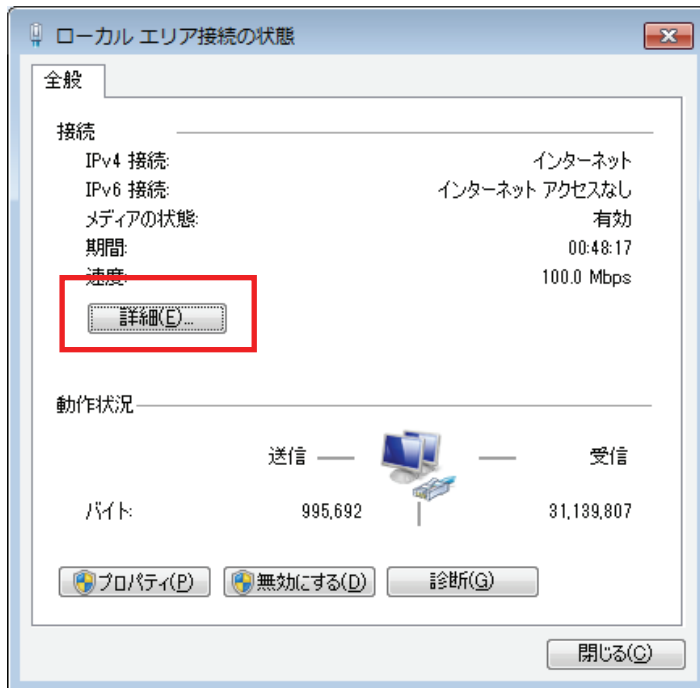
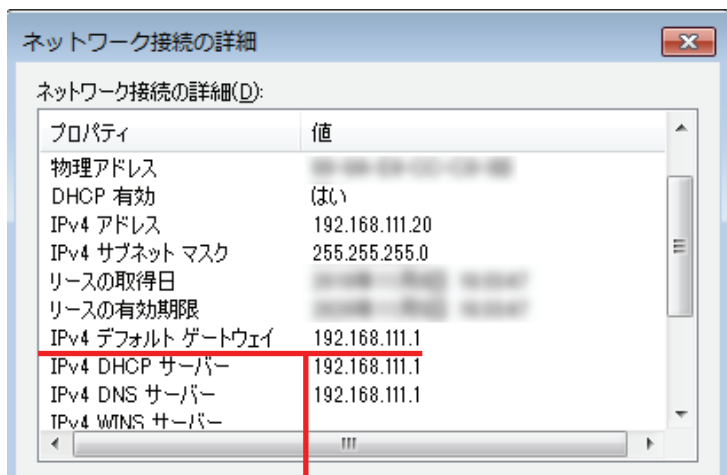
※手順では Windows 7 で説明していますが、Windows Vista も同じ手順となります。

1. ①「スタート」ボタンをクリックします。
   ②「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

※Windows 7 でアイコン表示の場合や、Windows Vista でクラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. Windows 7 のとき　　　Windows Vista のとき

「ローカルエリア接続」をクリックします。

「状態の表示」をクリックします。

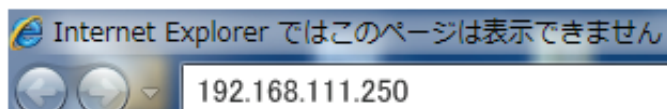
4. 「詳細」をクリックします。

5. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、

「192.168.111.250」とメモに取ります。

例）「192.168.3.1」ときは、「192.168.3.250」となります。

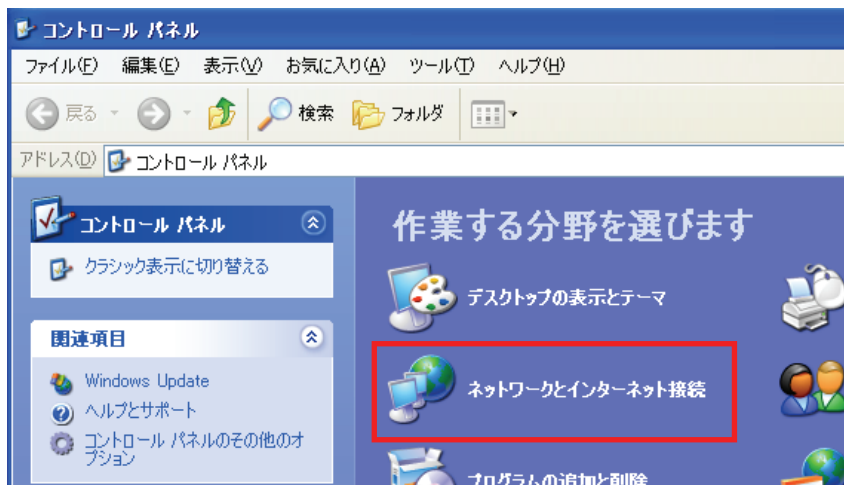
6. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 4 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

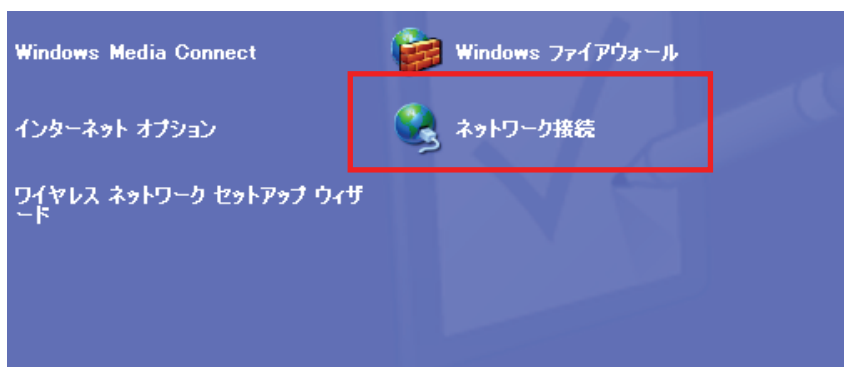
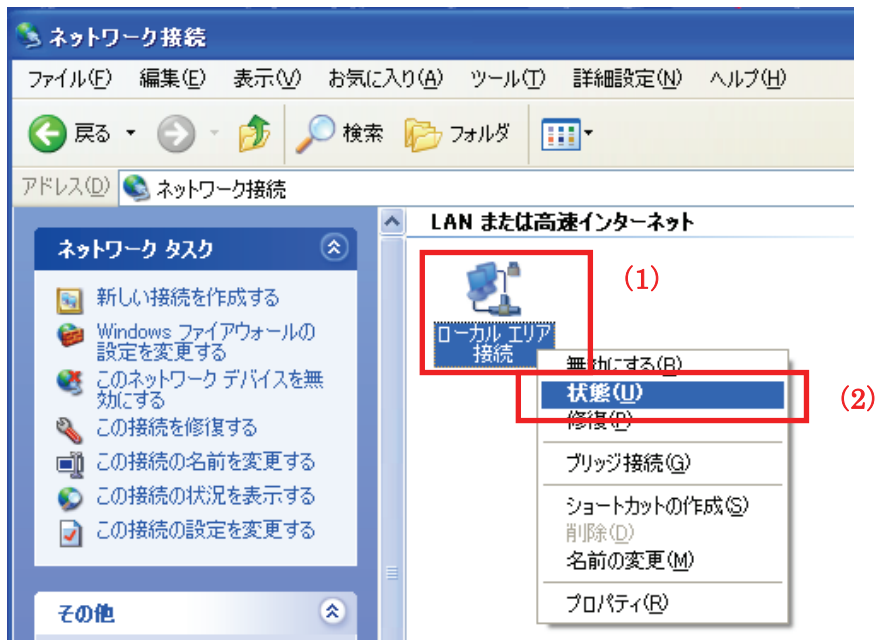
●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

※左記の画面はサンプルです。

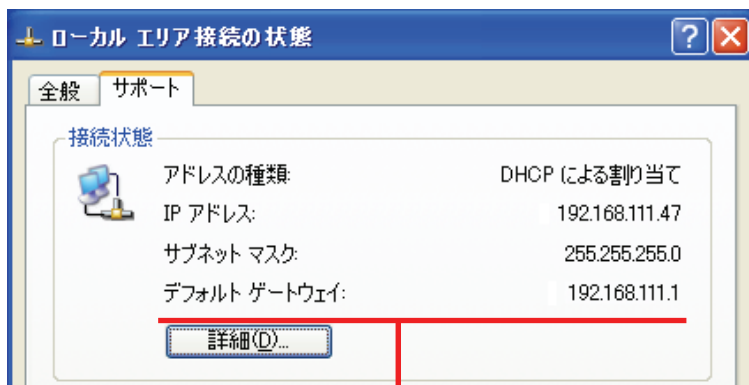
7. 「5.1 設定画面の表示方法」の手順 3 に戻ります。

■ Windows XP のとき

1. ①「スタート」ボタンをクリックします。
   ②「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

※クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」をダブルクリックし、手順 4 に進みます。

3. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックをクリックします。

4. ①「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックします。
②「状態」をクリックします。

5. 「サポート」タブをクリックします。

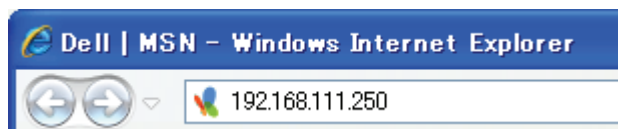
6. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「デフォルト ゲートウェイ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、

「192.168.111.250」とメモに取ります。

例）「192.168.3.1」ときは、「192.168.3.250」となります。

7. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 6 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

※左記の画面はサンプルです。

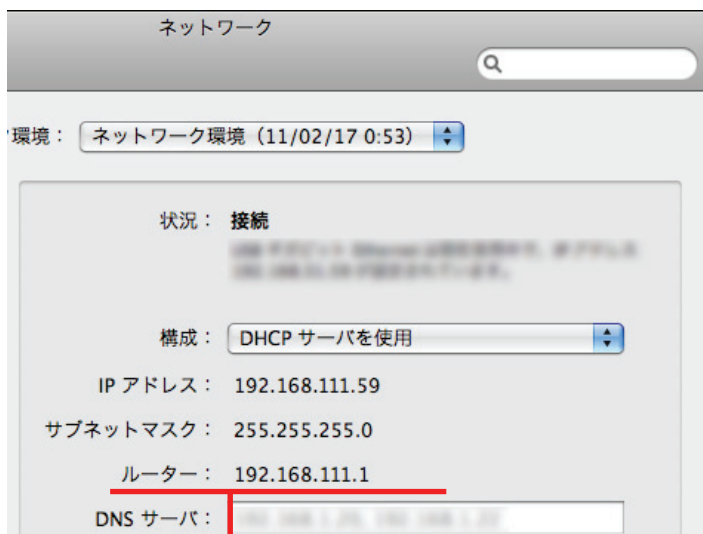
8. 「5.1 設定画面の表示方法」の手順 3 に戻ります。

■ Mac OS X のとき

1. ①「アップルメニュー」をクリックします。
   ②「システム環境設定」をクリックします。

2. 「ネットワーク」をクリックします。

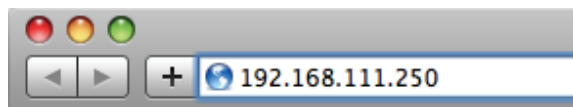
3. 画面左の「Ethernet...」をクリックします。
   ※Mac OS X 10.4 のときは、「表示」欄から「（内蔵）Ethernet」を選択し、「TCP/IP」タブをクリックします。

4. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「ルータ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「ルータ」が「192.168.111.1」のときは、**「192.168.111.250」とメモに取ります。**

例）「192.168.3.1」ときは、「192.168.3.250」となります。

5. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 4 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

※左記の画面はサンプルです。

6. 「5.1 設定画面の表示方法」の手順 3 に戻ります。

5.2 無線 LAN セキュリティを変更する

本製品は、携帯ゲーム機が簡単に接続出来る様に、暗号化がかけられていないアクセスポイントが設定されています。環境によっては大切なデータを傍受される恐れがありますので、お使いになる機器に合わせた暗号化の設定を行って下さい。

※別紙「ルータ・アクセスポイント設定ガイド」にてご説明しているアクセスポイント「ap-pc-●●●●●●」(パソコン・iPhone 用)には、暗号化が初期設定されています。すでにパソコンやスマートフォンを接続したときはそのままご使用ください。

以下は、各機器の無線LANの暗号化対応表です。
例えば、本製品のゲーム機用アクセスポイント「ap-game-●●●●●●」に、**DS LiteとWii**を接続する場合は、DS Liteが「WPA2-PSK」に対応していないため、**両機が対応している「WEP」の選んで設定を行います。**暗号化を設定する際は、以下の表より暗号化の対応内容を確認し、設定を行ってください。

暗号化の種類	パソコン		スマートフォン		ゲーム機					
	Windows	Mac OS X	iPhone/iPad	GALAXY Tab	DS Lite	DSi/DSi LL	3DS	Wii	PSP	PS3
WEP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WPA2-PSK	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○

※「WEP」より「WPA2-PSK」の方がセキュリティは強固です。接続する機器が全て「WPA2-PSK」に対応しているときは、「WPA2-PSK」を選んで設定してください。

1. [無線 LAN]をクリックします。
   ※設定画面の表示方法については「5.1 設定画面の表示方法」を参照してください。

2.　[セキュリティ]をクリックします。

3.　暗号化（セキュリティ）の設定をします。

※ここで設定する設定値は、無線通信する機器（パソコンやゲーム機など）に設定するときに必要になります。
メモに控えることをお勧めします。

（1） SSID を選びます。

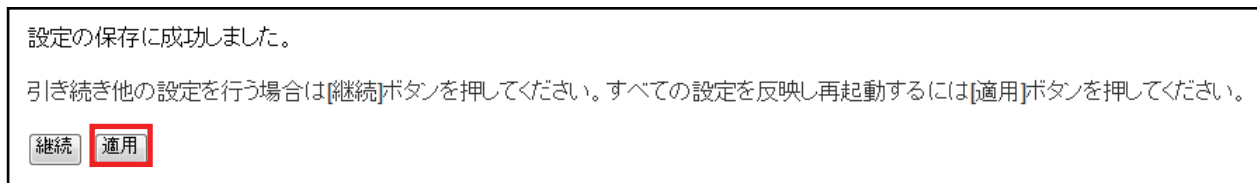
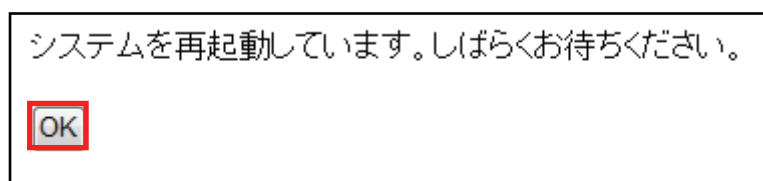
※ここでは「ap-game-XXXXXX」を選んでいます。

（2） 暗号化を選びます。

- 「WEP」を選択するときの設定は、**【WEP のとき】**（P38）をご参照ください。
- 「WPA/WPA2」を選択するときは、**【WPA/WPA2 のとき】**（P39）をご参照ください。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
SSID の選択	暗号化を設定する SSID を選びます。 マルチ SSID を設定しているときは、リストから該当する SSID を選びます。
認証方式	「WEP」を選択するときは、「Open System」、「Shared key」、 「自動（Open/ Shared）」から選びます。 「WPA/WPA2」を選択するときは、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、 「WPA-PSK/ WPA2-PSK」のいずれかを選びます。 ※本製品は IEEE 802.1 認証に対応していますが、サポート対象外です。

4.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

※本製品が再起動するまで約 90 秒かかります。

5.　[OK]をクリックします。

システムを再起動しています。しばらくお待ちください。

以上で設定の完了です。

【WEP のとき】

(1)「Open System」、「Shared key」、「自動(Open/ Shared)」のいずれかを選びます。

※通常は、「自動(Open/ Shared)」を選びます。

(2)「64-bit」または「128-bit」を選びます。

(3)「キーフォーマット」より「16 進数」または「ASCII」を選びます。

※「WEP キー長」にて「64-bit」を選んだとき

→キーフォーマットが「ASCII(5 文字)」、「16 進数(10 桁)」と表示されます。

※「WEP キー長」にて「128-bit」を選んだとき

→キーフォーマットが「ASCII(13 文字)」、「16 進数(26 桁)」と表示されます。

(4)「Key1」〜「Key4」から選びます。

※通常は「Key1」を選びます。

(5) 任意の暗号キーを半角英数で入力します。

以下のルールにしたがって入力してください。

	「キーフォーマット」で「16 進数」を選択	「キーフォーマット」で「ASCII」を選択
「WEP キー長」で「64-Bit」を選択	10 文字の暗号化キーを入力	5 文字の暗号化キーを入力
「WEP キー長」で「128-Bit」を選択	26 文字の暗号化キーを入力	13 文字の暗号化キーを入力

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0〜9」、英字「A〜F、a〜f」となります。

※文字列の入力できる文字列は、数字「0〜9」、英字「A〜Z、a〜z」となります。

(6)[適用]をクリックします。

「5.2　無線 LAN セキュリティを変更する」の手順 4 に進みます。

【WPA/WPA2 のとき】

セキュリティ

無線LANセキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いたWEPまたは WPAを設定し、無線LANネットワークへの不正アクセスを防止できます。

- SSIDの選択

SSIDの選択： ap-game-XXXXXX

- セキュリティ設定

認証方式： WPA2-PSK (1)

暗号化： TKIP AES TKIP/AES (2)

キーの更新間隔： 86400 秒

パスフレーズ： (3)

(4) 適用 キャンセル

(1)「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA-PSK/ WPA2-PSK」のいずれかを選びます。

※通常は、「WPA2-PSK」を選びます。

(2)「TKIP」、「AES」、「TKIP/AES」のいずれかを選びます。

※通常は、「AES」を選びます。

(3) 任意の暗号キーを半角英数で入力します。

以下のルールにしたがって入力してください。

	「16 進数」で設定するとき	「**文字列**」を選択
パスフレーズ	**64 文字**の暗号化キーを入力	**8～63 文字**の間で暗号化キーを入力

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※文字列の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

(4) [適用]をクリックします。

他の設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
キーの更新間隔	キーの更新間隔を設定します。単位は秒。

「5.2　無線 LAN セキュリティを変更する」の手順 4 に進みます。

5.3 マルチ SSID を設定する

ここでは、マルチ SSID の設定を行います。本製品は最大 5 つの SSID を登録して使用することができます。必要に応じて 3 つ目以降の SSID を設定し、通信制御やセキュリティ設定を行います。
本製品は、設定できる5つのSSIDを「ネットワーク名（SSID）」、「マルチ SSID1」～「マルチ SSID 4」として扱います。

ワンポイント

[SSID について]

SSID とは、無線 LAN においてアクセスポイントと無線 LAN クライアントが通信するための共通のグループ名のことです。同一の SSID の無線 LAN 機器同士で通信します。

[マルチ SSID について]

1 台の無線アクセスポイントに複数の SSID を登録して、複数の無線アクセスポイントがあるかのように使うことができる機能です。

1. [無線 LAN]をクリックします。
   ※設定画面の表示方法については「5.1 設定画面の表示方法」を参照してください。

2. ［基本設定］をクリックします。

3. 任意のネットワーク名を半角英数字で入力します。
※32 文字まで入力できます。
※SSID はメモに控えておくことをお勧めします。

(1)「マルチ SSID 1～4」に任意の SSID（ネットワーク名）を半角英数で入力します。
※初期値は、「マルチ SSID 1」に「ap-game-XXXXXX」（「XXXXXX」は製品ごとに異なります）が設定されています。

(2) [適用]をクリックします。

4. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

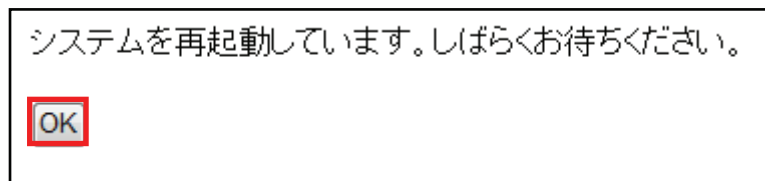
設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続 適用

※本製品が再起動するまで約 90 秒かかります。

5.　［OK］をクリックします。

システムを再起動しています。しばらくお待ちください。

6.　セキュリティを設定します。

◆設定方法については「5.2　無線 LAN セキュリティを変更する」を参照してください。

以上で設定の完了です。

5.4 SSIDを非表示にする

ここでは、SSIDの非表示設定を行います。

◆設定方法については「2.5　セキュリティスイッチについて」を参照してください。

5. 5 WDS の設定

ここでは、WDS（アクセスポイント間通信）の設定を行います。
本製品にはアクセスポイント間通信を行う WDS 機能を搭載しています。離れた場所に設置した複数台の本製品同士を無線で接続できます。

接続例
以下の接続環境を例に説明します。

■WDS の設定内容について

WDS 機能を使って、アクセスポイント間通信を行うには、以下の設定が必要です。
該当する各手順を参照して、「本製品 A」と「本製品 B」を設定してください。

（冒頭の接続図を例に説明します）

	本製品 A	本製品 B
セキュリティ	メイン SSID のセキュリティを設定します。	本製品 A と同じセキュリティを設定します。
MAC アドレス	本製品 B の無線 LAN（BSSID）の MAC アドレスを設定します。 ※　BSSID の確認は「6.2.1　基本設定」を参照	本製品 A の無線 LAN（BSSID）の MAC アドレスを設定します。 ※　BSSID の確認は「6.2.1　基本設定」を参照
IP アドレス（LAN 側）	例：192.168.111.XXX ※確認方法は「6.1.1　LAN 設定」を参照	本製品 A と同じセグメントの IP アドレスを設定します。 例：192.168.111.ZZZ
DHCP	「有効」に設定します。	「無効」に設定します。

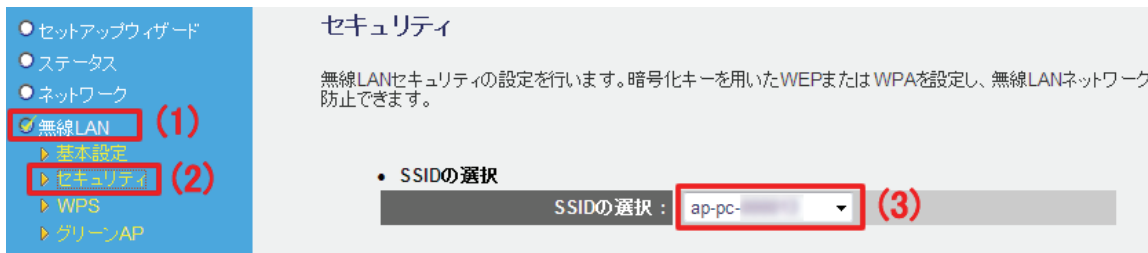
※1 LAN 側の IP アドレスが、それぞれの本製品で同一にならないように設定します。

（例）　1 台目の本製品が「192.168.111.1」のときは、2 台目の本製品を「192.168.111.240」のように、頭から 4 つ目の数値を重複しないように設定変更します。

【本製品 A の設定】

本製品 A 側を設定します。**本手順ではセキュリティを「WPA」または「WPA2」に設定する手順で説明します。**

注意： 事前に本製品 A と本製品 B の無線 LAN 側 MAC アドレス（BSSID）を確認し、メモに控えてください。確認方法は、「6.2.1 基本設定」を参照してください。

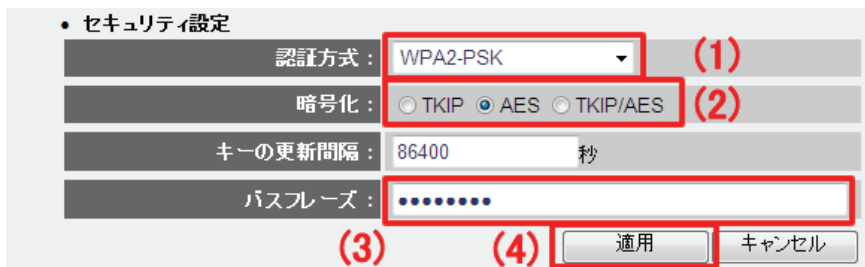
1. 本製品 A の無線 LAN セキュリティを設定します。

（1）WEB 設定画面の左メニューより、「無線 LAN」をクリックします。

（2）「セキュリティ」をクリックします。

（3）SSID の選択にて、「ap-pc-XXXXXX」を選びます。（「XXXXXX」は製品ごとに異なります）

2. セキュリティを設定します。

※ここで設定するセキュリティはアクセスポイント側の設定です。WDS 用は手順 7 にて行います。

※すでに「ap-pc-XXXXXX」に接続している機器があるときは、ここで設定する内容に変更してください。

（1）「認証方式」を、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA-PSK/ WPA2-PSK」から選びます。

（2）「暗号化」を、「TKIP」、「AES」、「TKIP/AES」から選びます。

（3）任意の暗号化キーを半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数で設定するとき	文字列で設定するとき
パスフレーズ	**64 文字で入力**	**8～63 文字の間で入力**

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※文字列の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

（4）［適用］をクリックします。

3. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[継続]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

4. WDS の設定を行います。

(1)「無線 LAN」をクリックします。

(2)「基本設定」をクリックします。

(3)「モード」で、「AP+WDS」を選びます。

(4)「1」～「13」の間で、「チャンネル」を任意に設定します。

※「自動」は設定しないでください。

※ここで設定したチャンネルは本製品 B にも設定します。メモに控えてください。

(5)本製品 B の無線 LAN 側 MAC アドレスを入力します。

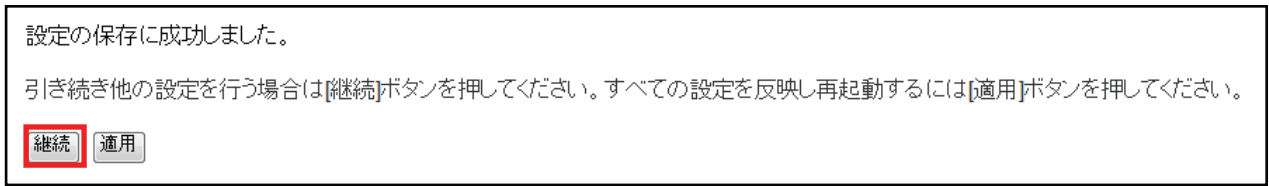
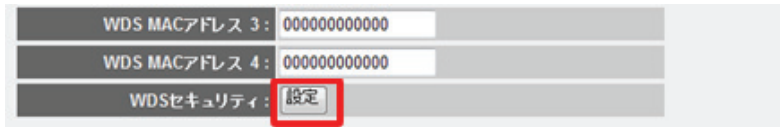
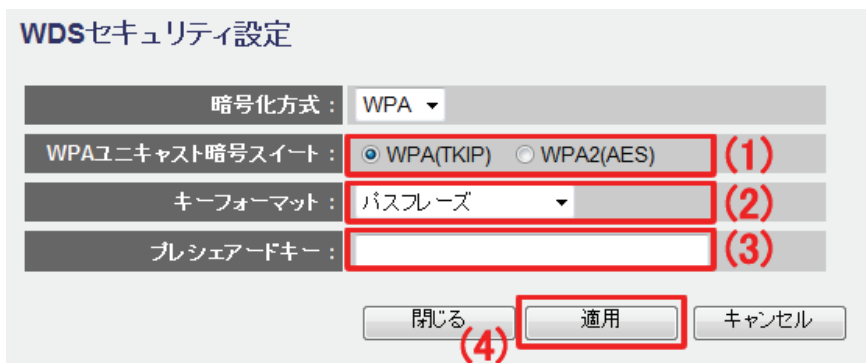
入力方法 : 「00:11:22:33:44:55」のときは、「001122334455」と入力します。

(6)[適用]をクリックします。

5. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[継続]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続 適用

6. 「無線 LAN」の「基本設定」に戻ります。画面下「WDS セキュリティ」の[設定]をクリックします。

7. WDS 用のセキュリティを設定し、設定した内容をメモに控えます。
※メモした内容は、本製品 B の設定をするときに使用しますので、必ず控えてください。

(1)「WPA（TKIP）」または「WPA（AES）」を選びます。

(2)「パスフレーズ」または「Hex （64 character）」を選びます。

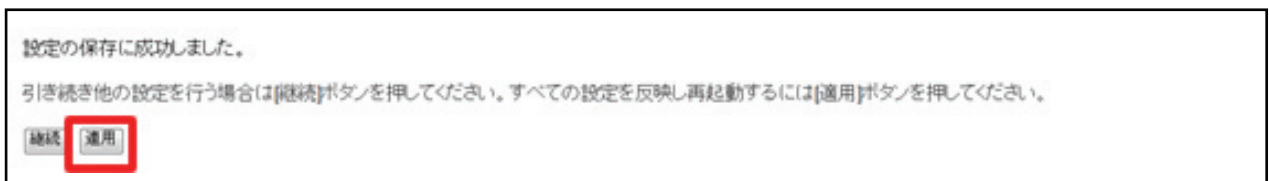
(3)任意の暗号化キーを半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

	(2)で「パスフレーズ」を選択時	(2)で「Hex (64 character)」を選択時
プレシェアードキー	**8～63 文字の間で入力**	**64 文字で入力**

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※文字列の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

(4)[適用]をクリックします。

8. 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[適用]をクリックし、本製品を再起動します。

以上、本製品 A の設定は完了です。

【本製品 B の設定】

本製品 B 側を設定します。本手順ではセキュリティを「WPA」または「WPA2」に設定する手順で説明します。

注意 1： 事前に本製品 A と本製品 B の無線 LAN 側 MAC アドレス(BSSID)を確認し、メモに控えてください。
確認方法は、「6.2.1 基本設定」を参照してください。

注意 2： 事前に本製品 A に設定された IP アドレスを確認し、メモに控えてください。
確認方法は、「6.1.1 LAN 設定」を参照してください。

IPアドレス：	192.168.1.250
サブネットマスク：	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：	0.0.0.0

（上記の IP アドレス「192.168.1.250」は例です。実際の環境と設定値は異なります）

1. 本製品 B の無線 LAN セキュリティを設定します。

(1)WEB 設定画面の左メニューより、「無線 LAN」をクリックします。

(2)「セキュリティ」をクリックします。

(3)SSID の選択にて、「ap-pc-XXXXXX」を選びます。 (「XXXXXX」は製品ごとに異なります)

2. セキュリティを設定します。

(1)「認証方式」を、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA-PSK/ WPA2-PSK」から選びます。

(2)「暗号化」を、「TKIP」、「AES」、「TKIP/AES」から選びます。

(3)任意の暗号化キーを半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数で設定するとき	文字列で設定するとき
パスフレーズ	**64 文字で入力**	**8～63 文字の間で入力**

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※文字列の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

(4)[適用]をクリックします。

3. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[継続]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

適用

4. (1)「無線 LAN」をクリックします。

(2)「基本設定」をクリックします。

4.　WDS の設定を行います。

(1)「モード」で、「AP+WDS」を選びます。

(2)本製品 A の設定でメモした同じチャンネルを選びます。

(3)本製品 A の無線 LAN 側 MAC アドレスを入力します。

　　入力方法　：　「00:11:22:33:44:55」のときは、「001122334455」と入力します。

(4)[適用]をクリックします。

5.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[継続]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

6.「無線 LAN」の「基本設定」に戻ります。画面下「WDS セキュリティ」の[設定]をクリックします。

7. 本製品 A で設定した同じ WDS 用のセキュリティを設定します。

(1)本製品 A で設定した「WPA ユニキャスト暗号スイート」を選びます。

(2)本製品 A で設定した「キーフォーマット」を選びます。

(3)本製品 A で設定した暗号化キーを入力します。

(4)[適用]をクリックします。

8. 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[適用]をクリックし、本製品を再起動します。

9. IP アドレスを設定します。

(1)「ネットワーク」をクリックします。

(2)本製品 A に設定された IP アドレスに合わせて、本製品 B の IP アドレスを入力します。

例)本製品 A が「192.168.111.250」のときは、本製品 B は「192.168.111.240」と設定します。

※IP アドレスの右一つ目(例では 240 の部分)が重複しない「1」～「248」の数値を入力します。

(3)「DHCP サーバ自動検出」を「無効」にします。。

(4)[適用]をクリックします。

10. 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[適用]をクリックし、本製品を再起動します。

以上、本製品 B の設定は完了です。

第 6 章:詳細設定

ここでは、各設定画面について説明します。

※設定画面の表示方法については「5.1 設定画面の表示方法」を参照してください。

6.1 ネットワーク関連の設定

ここでは、ネットワーク関連の各種設定を行います。

6.1.1 LAN 設定

ここでは、LAN 側の設定方法を説明します。

1. [ネットワーク]をクリックします。

2. 各項目を設定します。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
IP アドレス	本製品に設定する LAN 側の IP アドレスを入力します。 初期設定は「192.168.1.250」です。
サブネット マスク	本製品に設定する LAN 側のサブネットマスクを入力します。 初期設定は「255.255.255.0」です。
デフォルト ゲートウェイ	本製品に設定する LAN 側のサブネットマスクを入力します。 初期設定は「0.0.0.0」です。
プライマリ DNS サーバ	上位のプライマリ DNS サーバ(ルータなど)の IP アドレスを入力します。 初期設定は「空欄」です。
セカンダリ DNS サーバ	上位のセカンダリ DNS サーバ(ルータなど)の IP アドレスを入力します。 初期設定は「空欄」です。

DHCP サーバ 自動検出	接続先に DHCP サーバがあるかないかを判断します。 **「有効」**: ◆ 上位ルータと接続したときは、本製品の IP アドレスを「xxx.xxx.xxx.AAA」に変更します。 ※「xxx.xxx.xxx」は上位のルータに依存します。 ※「DHCP サーバ自動検出」が「有効」のときに、任意に設定できるのは IP アドレス「xxx.xxx.xxx.AAA」の「AAA」のみとなります。その他の項目は、設定できません。 ◆ パソコンに接続したときは、本製品の DHCP サーバを有効にします。 **「無効」**: 「DHCP サーバ自動検出」を無効にします。 ※各項目を任意に設定してください。 ※「DHCP サーバ自動検出」が「無効」のときは、本製品に接続するパソコンの IP アドレスを手動取得してください。設定方法は「第 7 章 7.3 IP アドレスの設定」の「7.3.2 手動設定」を参照してください。 初期設定は「有効」です。

3. [適用]をクリックします。

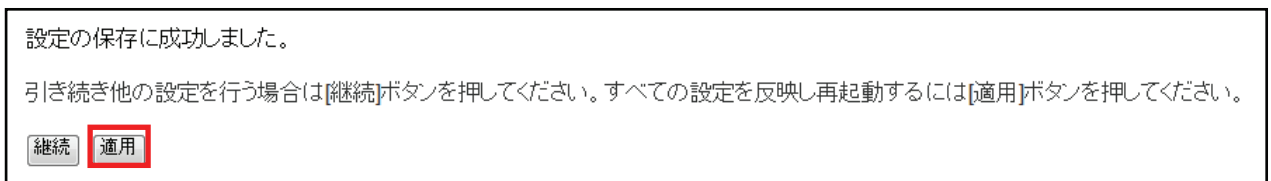
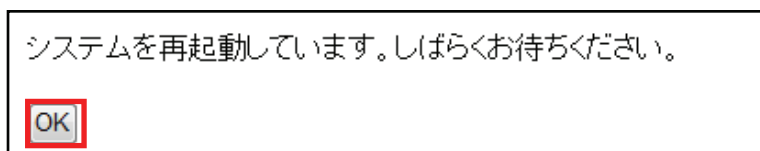
4. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

※本製品が再起動するまで約 90 秒かかります。

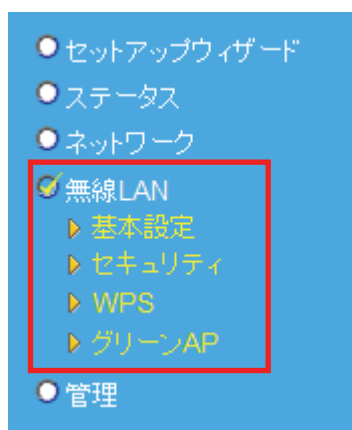
5. [OK]をクリックします。

システムを再起動しています。しばらくお待ちください。

以上で設定の完了です。

注意: ●設定を変更した後は、パソコンなど各ネットワーク機器は一度再起動してください。
●変更した IP アドレスなどの値はメモなどに取って保管してください。
●以後、本製品の設定画面を表示するときは、上記で設定した IP アドレスを WEB ブラウザのアドレス欄に入力します。

6.2 無線 LAN 関連の設定

「無線 LAN」画面で、無線 LAN 関連の項目を設定することができます。SSID、セキュリティ設定、WPS などの設定は「無線 LAN」画面で設定内容を変更してください。

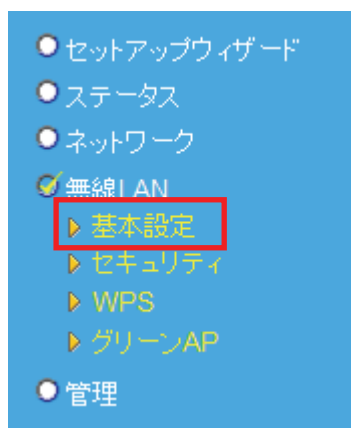
無線 LAN 画面には、「基本設定」、「セキュリティ」、「WPS」、「グリーン AP」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

6.2.1 基本設定

ここでは、無線 LAN の基本設定を行います。
（無線の「チャンネル」を変更するときは、本項より設定を行ってください）

注意： 本項で説明している無線 LAN 機能の基本設定内容は、全ての SSID で共通となります。SSID ごとに異なる設定はできません。

1. ［無線 LAN］をクリックします。
   ※設定画面の表示方法については「第 5 章 5.1 設定画面の表示方法」を参照してください。

2. ［基本設定］をクリックします。

3.　必要に応じて各項目を設定します。項目の説明は次項を参照してください。

4.　[適用]をクリックします。

5.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続　適用

※本製品が再起動するまで約 90 秒かかります。

6.　[OK]をクリックします。

システムを再起動しています。しばらくお待ちください。

以上で設定の完了です。

各設定項目内容は以下の通りです。

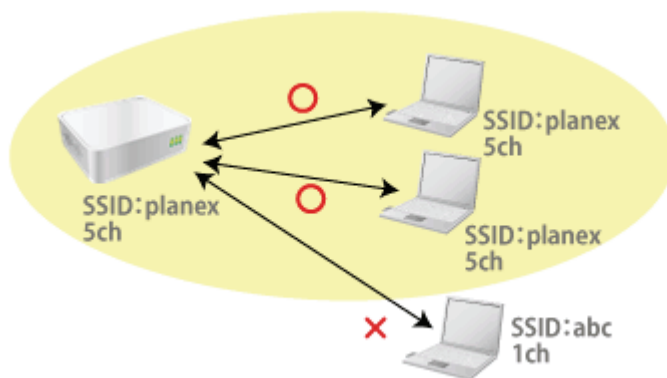
項目名	動作
無線 LAN	無線 LAN の「有効」または「無効」から選びます。 ※初期値は「有効」です。 ※無効にすると無線 LAN 接続不可になりますのでご注意ください。
モード	無線 LAN アクセスポイントのモードを選びます。 「AP」：無線 LAN アクセスポイントとして通信します。 「WDS」：WDS モードで通信します。 「AP＋WDS」：無線 LAN アクセスポイント、WDS 両方使用可能になります。 ※初期値は「AP」です。
無線モード	無線モードを選びます。 「2.4GHz（B）」：IEEE802.11b のみで通信します。 「2.4GHz（G）」：IEEE802.11g のみで通信します。 「2.4GHz（B+G）」：IEEE802.11b および IEEE802.11g で通信します。 「2.4GHz（B+G+N）」：IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。 ※初期値は「2.4GHz（B+G+N）」です。
伝送速度	伝送速度を設定します。 ※初期値は「自動」です。
チャンネル帯域	周波数帯域幅を「自動　20/40 MHZ」または「20 MHZ」から選びます。 ※初期値は「自動　20/40 MHZ」です。
ガードインターバル	ガードインターバルを設定します。 ※初期値は、「自動」です。
MCS	送信速度を設定します。 通常は「自動」にします。 ※初期値は、「自動」です。
Decline BA Request	Decline BA Request をを設定します。 ※初期値は「無効」です。
ネットワーク名（SSID）	無線 LAN で特定のネットワークを指定するためのグループ名のことを指し、同一の SSID の無線 LAN 機器同士で通信します。 ※半角英数字で 32 文字まで入力できます。 ※初期値は「ap-pc-XXXXXX」です。X 部分は製品ごとに異なります。
マルチ SSID	設定方法は、「5.3　マルチ SSID を設定する」を参照してください。
AP アイソレーション	AP アイソレーションを「有効」または「無効」から選びます。 「有効」：同一 SSID での通信拒否 「無効」：同一 SSID での通信許可 ※初期値は「無効」です。

チャンネル	チャンネルを「1」～「13」の範囲で選びます。 近隣との電波干渉があるときに適当なチャンネルを選択してください。 ※初期値は「自動」です。

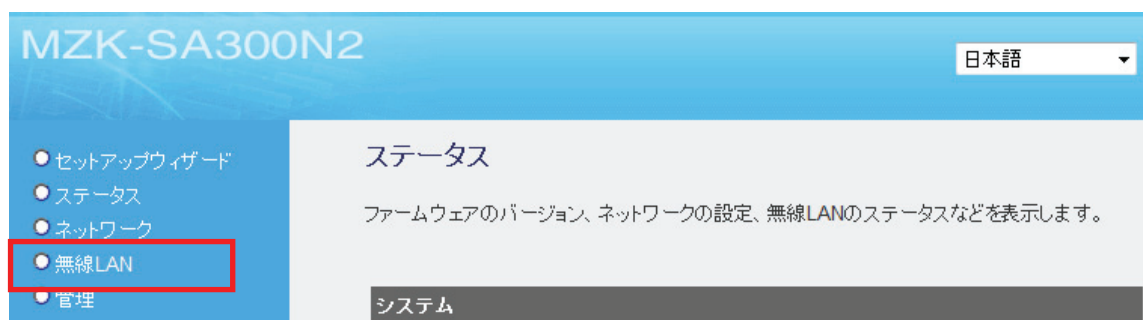
ワンポイント

チャンネルについて

同一の SSID 内で無線通信するには、チャンネルを同じにする必要があります。本製品のマルチ SSID 機能では、1 つのチャンネルを共通で使用します。

複数の無線 LAN アクセスポイントを設置して複数の SSID（無線 LAN グループ）を構成する場合は、アクセスポイント毎に別のチャンネルを設定しますが、アクセスポイント間の電波の干渉をさけるために、 それぞれのチャンネルは 1／6／11 など 5ch 程度離れたチャンネルに設定する必要があります。

6.2.2 アクセスコントロール設定

ここでは、無線による本製品への接続を制限します。
アクセスポリシーが「許可」の場合、登録機器のみ接続できます。
「拒否」の場合、登録機器は本製品へ接続できません。

1. ［無線 LAN］をクリックします。

2. ［セキュリティ］をクリックします。

3.　アクセスコントロールを設定します。

(1)「無効」のチェックをはずします。

(2)制御する機器の MAC アドレスを入力します。

※登録できる最大定数は 20 個です。

(3)必要に応じてコメントを入力します。

※最大全角 12 文字、半角 16 文字

(4)[追加]をクリックします。

「アクセスコントロール一覧」に追加されます。

※複数のアクセスポリシーを登録するときは、上記の手順(2)～(4)を繰り返します。

(5)「許可」または「拒否」を選びます。

※「許可」：登録した MAC アドレスのみ無線 LAN 接続を許可します。

※「拒否」：登録した MAC アドレスのみ無線 LAN 接続を拒否します。

※初期値は無効です。

(6)[適用]をクリックします。

他の設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
リセット	「MAC アドレス」、「コメント」欄に記入した内容を消去します。
選択項目の削除 すべてを削除	登録内容を消去するには ・「アクセスコントロール一覧」から削除したい設定内容の「選択」ボックスにチェックを付け、「選択項目の削除」 をクリックします。 「選択したものを削除しますか？」と聞かれるので[OK]をクリックします。 ・ すべてを消去するときは、「すべてを削除」をクリックします。

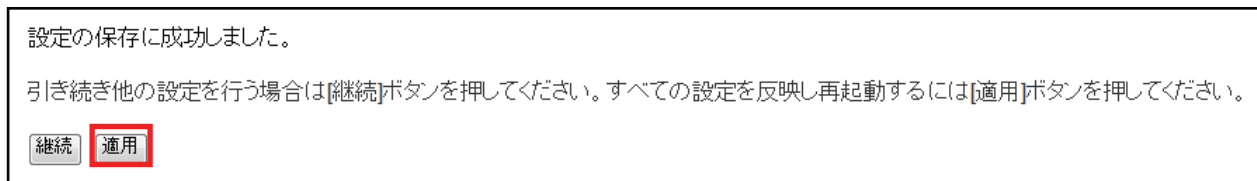
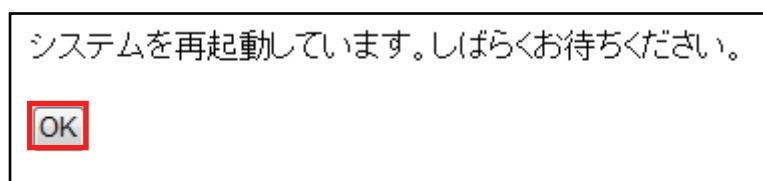
4. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

※本製品が再起動するまで約 90 秒かかります。

5. [OK]をクリックします。

システムを再起動しています。しばらくお待ちください。

以上で設定の完了です。

6.2.3 WPS の設定

ここでは、WPS 設定を行います。WPS 機能に対応している機器との無線設定が簡単にできます。
※ WPS（Wi-Fi Protected Setup）とは、無線 LAN 関連の業界団体「Wi-Fi アライアンス」が策定した無線 LAN の簡単設定規格です。WPS 対応機器と組み合わせて無線 LAN の設定や暗号化を簡単に行うことができる機能です。

- 本体の WPS ボタンを使って接続するときは、**【WPS ボタンのとき】**（P66）をご参照ください。
- 画面を使って WPS 接続するときは、**【PBC 方式のとき】**（P69）をご参照ください。
- PIN コードを使って接続するときは、**【PIN 方式のとき】**（P71）をご参照ください。

【WPS ボタンのとき】

⇒ 「スタートガイド STEP3 の WPS ボタンを使う」にも本設定の説明がありますので参照してください。

本製品本体の WPS ボタンを使って、簡単に無線 LAN 設定を行うことができます。
ただし、WPS 機能を使って設定するためには、無線 LAN ルータ（親機）と無線 LAN アダプタ（子機）がどちらとも WPS に対応している必要があります。

ご注意

※WPS 機能を使用すると、初期設定した内容が WPS 機能により書き換わってしまうため、先に設定した機器は無線 LAN 設定をやり直さなければならない場合があります。

※複数台の機器を無線 LAN 接続する場合には、手動にて「SSID：ap-pc-●●●●●●」、「キー：12345678」をそれぞれ設定して頂く方法をお勧めします。

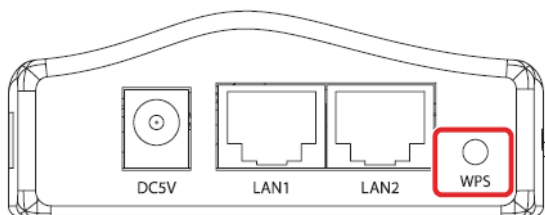
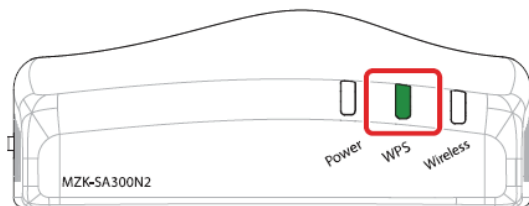
※本製品の「スタートガイド」または本ユーザーズ・マニュアル「インターネット接続方法」の設定を済ませ、本製品をインターネットに接続できる状態にしてください。

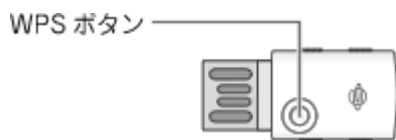
※無線 LAN アダプタをパソコンにインストールしておいてください。

1. 本製品とWPS 対応の無線 LAN アダプタを装着したパソコンを用意し、本製品とパソコンの電源がオンになっていることを確認します。

2. 本製品背面の「WPS」ボタンを 3 秒以上押して離します。

↓

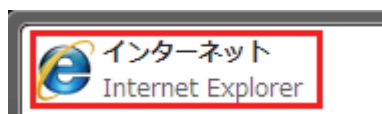
↓

本製品前面の「WPS」ランプが緑色で点灯します。

3.　無線 LAN 子機の WPS ボタンを押します。

※「WPS ボタン」の有無や位置については、機器ごとに異なります。
詳細は各無線 LAN 子機の取扱説明書をご確認ください。

何も操作せずに、30 秒～2 分ほどお待ちください。

4.　接続が完了すると、「WPS」ランプが消灯します。

ワンポイント

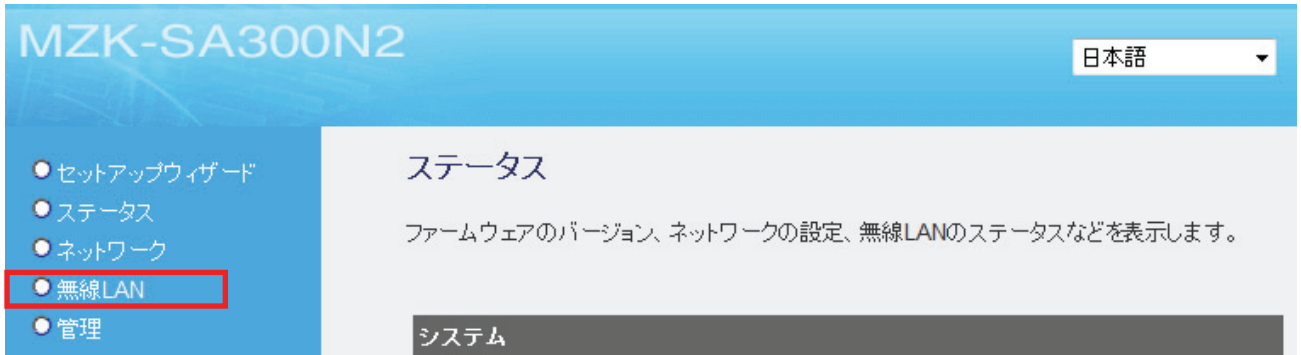
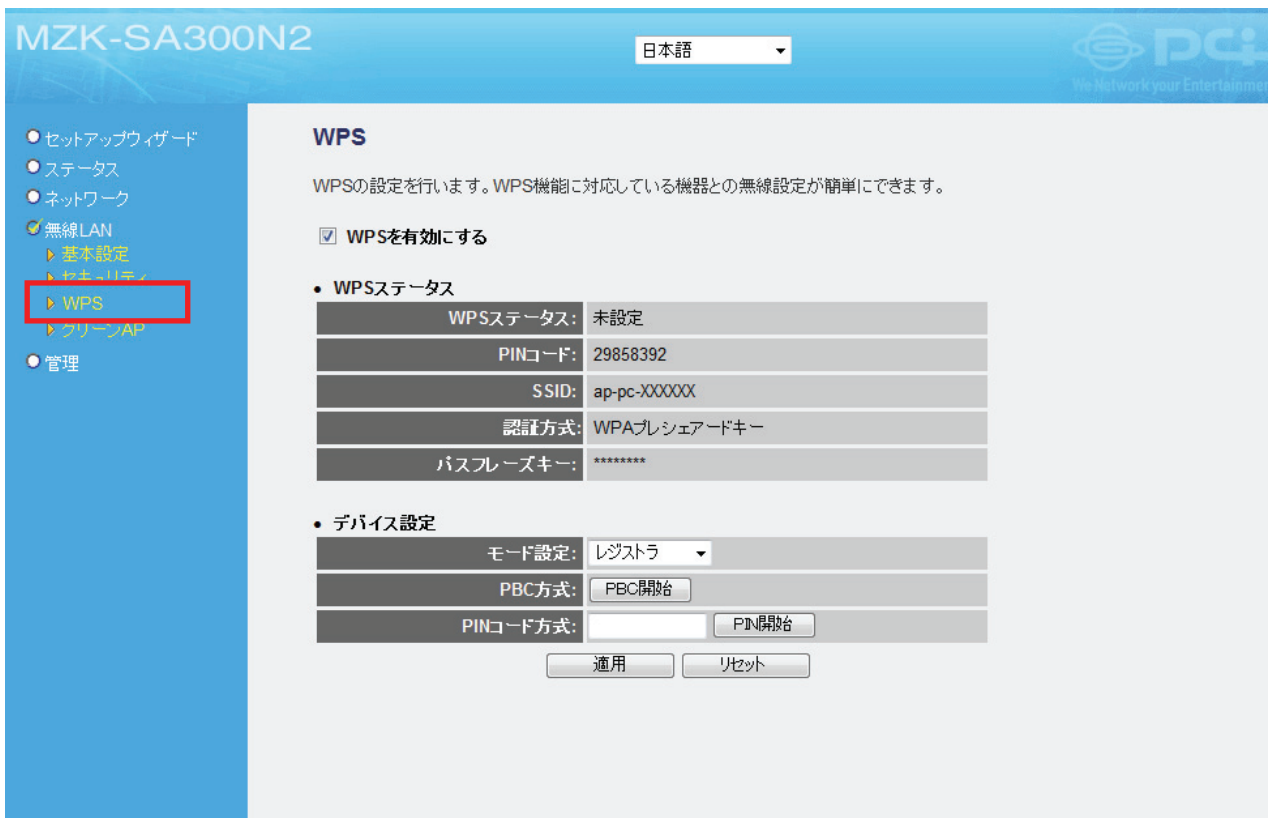
・WPS ランプが点灯のときは、まだ接続されていません。
・WPS ランプが点灯しないときは、再度 WPS ボタンを押してください。

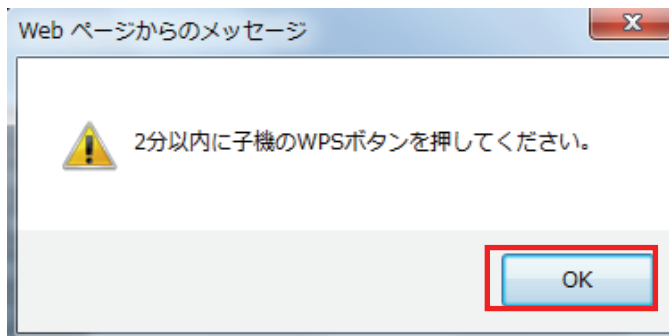
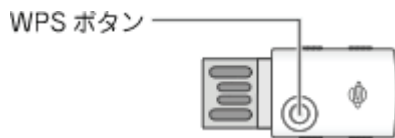
5.　WEB ブラウザをダブルクリックして、インターネットに接続されることを確認します。

ワンポイント

・　セキュリティ設定内容（暗号キーなど）は、WPS 機能によって新しく設定されます。

以上で設定の完了です。

【PBC 方式のとき】

1. ［無線 LAN］をクリックします。

2. ［WPS］をクリックします。

3.　「PBC 開始」をクリックします。

4.　以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。
　　本製品前面の「WPS」ランプが緑色で点灯します。

5.　無線 LAN 子機の WPS ボタンを押します。
　　詳細は各無線 LAN 子機の取扱説明書をご確認ください。

何も操作せずに、30 秒～2 分ほどお待ちください。

6.　接続が完了すると、「WPS」ランプが消灯します。

7.　WEB ブラウザをダブルクリックして、インターネットに接続されることを確認します。

以上で設定の完了です。

【PIN 方式のとき】

ここでは、相手側機器の PIN コードを入力する方法で説明します。

1. ［無線 LAN］をクリックします。

2. ［WPS］をクリックします。

3.　設定します。

(1)「接続機器の PIN コード」欄に接続先の PIN コードを入力します。

(2)［PIN 開始］をクリックします。

何も操作せずに、30 秒～2 分ほどお待ちください。

4.　接続が完了すると、「WPS」ランプが消灯し、「Wireless」 ランプが点滅することを確認します。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
WPS を有効にする	WPS 機能を無効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は有効です。
PIN コード	本製品の PIN コードです。 相手側機器との接続に PIN コードの登録が必要なときは、このコードを指定します。
モード設定	本製品側で無線アダプタの PIN コードにあわせるときは「レジストラ」を、無線アダプタ側で本製品の PIN コードにあわせるときは「エンローリー」を選択します。 ※初期値は「レジストラ」です。
PIN コード方式	PIN コードを使って相手側機器と接続します。 相手側機器の PIN コードを入力し、［PIN 開始］をクリックします。

以上で設定の完了です。

6.2.4 グリーン AP の設定

ここでは、グリーン AP の設定を行います。指定した曜日・時間帯で無線機能の有効／無効を設定します。

1. ［無線 LAN］をクリックします。

2. ［グリーン AP］をクリックします。

3.　各項目を設定します。

(1)時間帯・曜日を指定します。

※「開始」、「終了」：開始時間・終了時間を指定します。

※「日～土」：チェックを入れた曜日に無線機能が有効になります。

(2)無線出力を「100%（グリーン AP 無効）」、「75%」、「50%」、「20%」、「OFF」から選びます。

(3)[適用]をクリックします。

※複数設定する場合、手順 1～3 を繰り返します。

※最大 4 つの設定ができます。

4.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

※本製品が再起動するまで約 90 秒かかります。

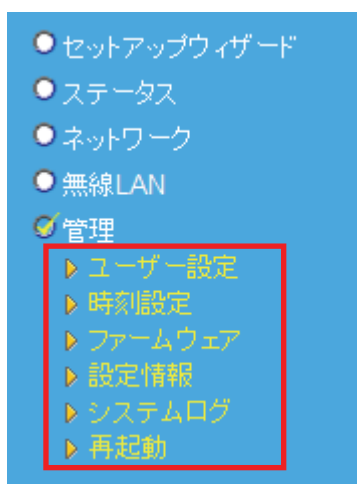
5.　[OK]をクリックします。

システムを再起動しています。しばらくお待ちください。

以上で設定の完了です。

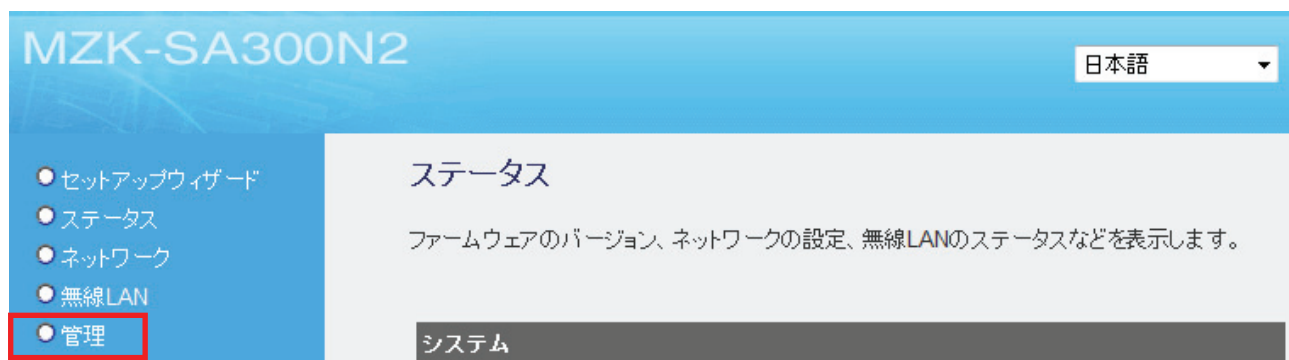
6.3 システム管理関連

「管理」画面で、機器管理関連の項目を設定することができます。時刻設定、ファームウェア更新、設定情報管理などは「管理」画面で設定・確認をしてください。

管理画面には、「ユーザ設定」、「時刻設定」、「ファームウェア」、「設定情報」、「システムログ」、「再起動」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

6.3.1　ユーザ名・パスワードの変更

ここでは、設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定します。

1.　[管理]をクリックします。

2.　[ユーザ設定]をクリックします。

3.　設定します。

(1)現在設定されているパスワードを入力します。
　※初期値は「password」です。
(2)新たに設定するユーザ名を入力します。
　※初期値は「admin」です。
(3)新たに設定するパスワードを入力します。
(4)入力間違いを防ぐ為、手順3と同じパスワードを入力します。
(5)[適用]をクリックします。

4.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続　適用

5.　ログイン画面が表示されますので、変更したユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
(1)変更したユーザ名を入力します。
(2)変更したパスワードを入力します。
(3)[OK]をクリックします。

※本製品が再起動するまで約 90 秒かかります。

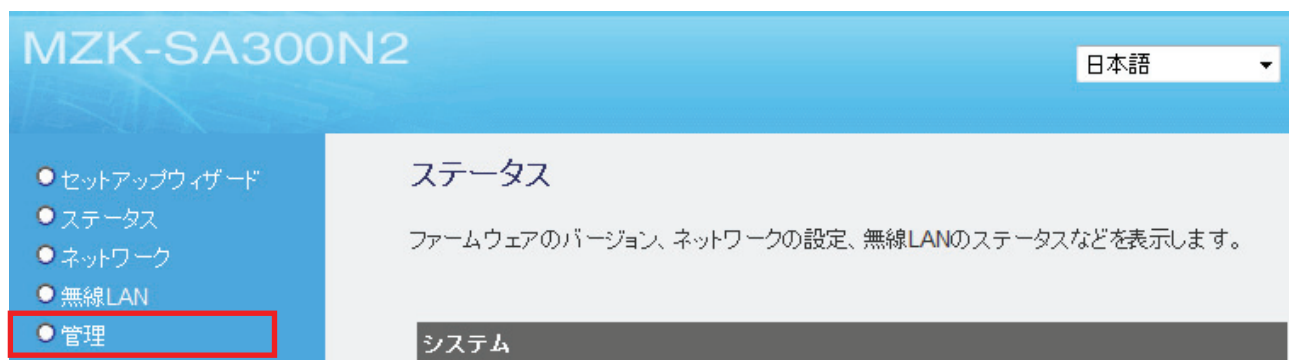
6.　［OK］をクリックします

システムを再起動しています。しばらくお待ちください。

以上で設定の完了です。

6.3.2 時刻設定

ここでは、パソコンと同期または NTP サーバを利用し、時刻を設定します。

1. [管理]をクリックします。

2. [時刻設定]をクリックします。

3. 設定します。

- NTP サーバの設定するときは、**【NTP サーバの設定】**（P79）を参照してください。
- 時刻を設定するときは、**【時刻の設定】**（P80）を参照してください。

【NTP サーバの設定】

（1）タイムゾーンを選びます。

※初期値は「（GMT＋09：00）大阪、札幌、東京」です。

（2）NTP サーバを設定します。

※初期値は「203.117.180.36」です。

（3）［適用］をクリックします。

手順 4（P81）に進みます。

【時刻の設定】

■時刻を PC と同期して設定するとき

(1)［実行］をクリックします。

手順 4(P81)に進みます。

■インターネットを通して設定するとき

(1)［実行］をクリックします。

手順 4(P81)に進みます。

4.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

※本製品が再起動するまで約 90 秒かかります。

5.　[OK]をクリックします。

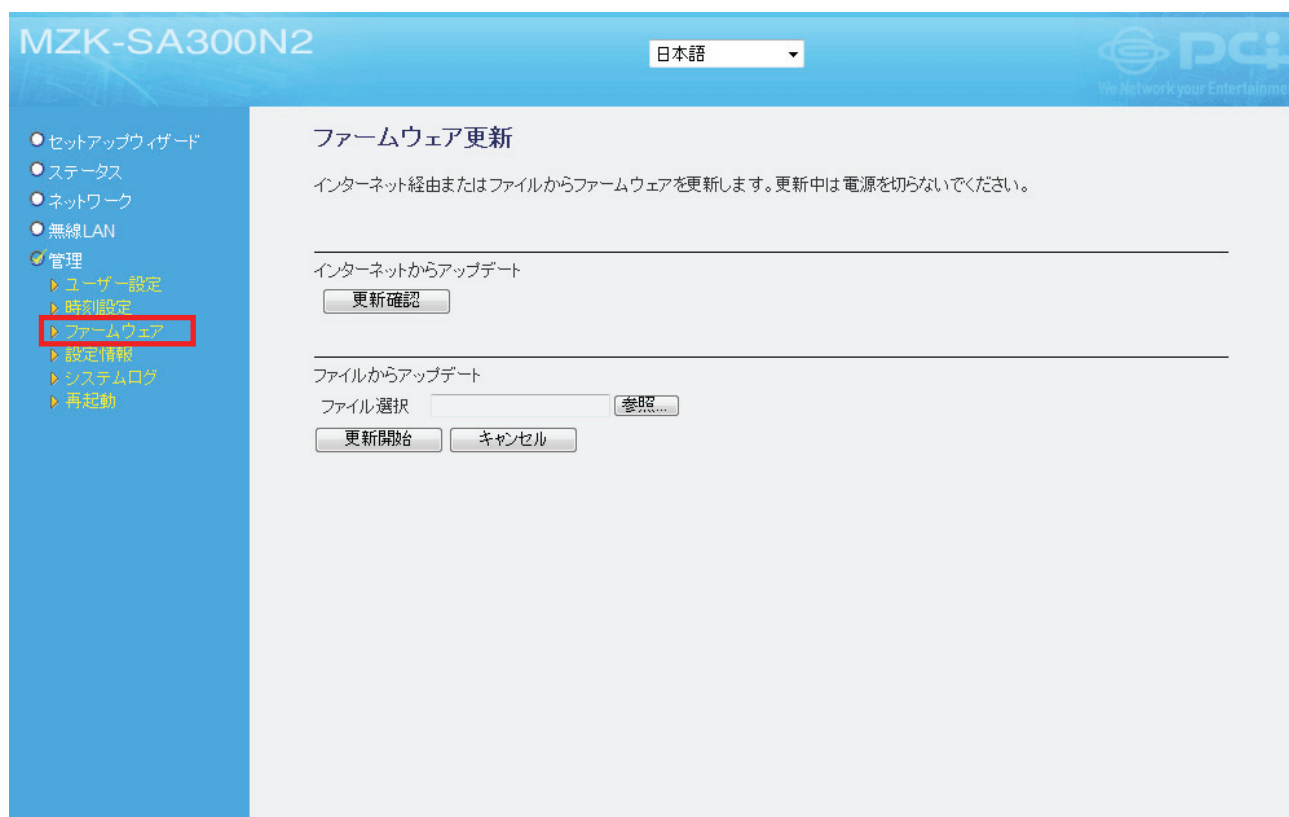
システムを再起動しています。しばらくお待ちください。

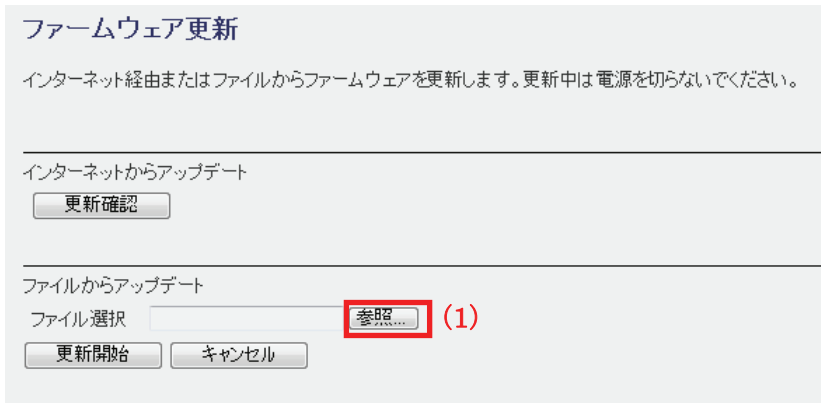
以上で設定の完了です。

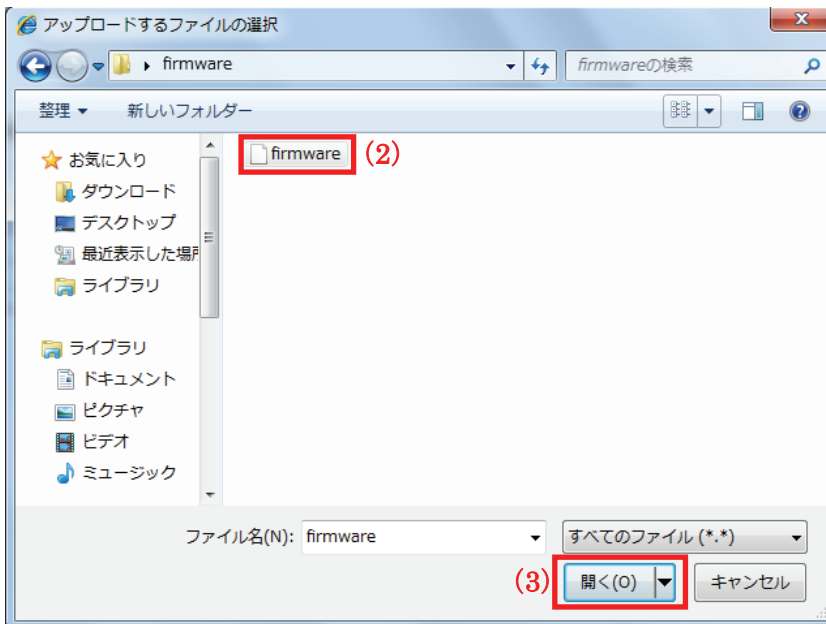
6.3.3 ファームウェア更新

ここでは、ファームウェアを更新します。
下記弊社のホームページより最新のファームウェアがあるときはダウンロードできます。
http://www.planex.co.jp/support/download/
あらかじめ弊社ホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、パソコンのハードディスクなどに保存しておいてください。

1. [管理]をクリックします。

2. [ファームウェア更新]をクリックします。

3.　設定します。

（1）[参照]をクリックします。

（2）予め保存した新しいファームウェアファイルを指定します。

（3）[開く]をクリックします。

（4）[更新開始]をクリックします。

※アップデートが終わるまでしばらく待ちます。

（5）確認メッセージが出ますので[OK]をクリックします。

他の設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
インターネットからアップデート	[更新確認]をクリックすると、インターネットからファームウェアをアップデートすることができます。

4.　「アップデートが完了しました。」と表示されたら、ブラウザのページを更新します。

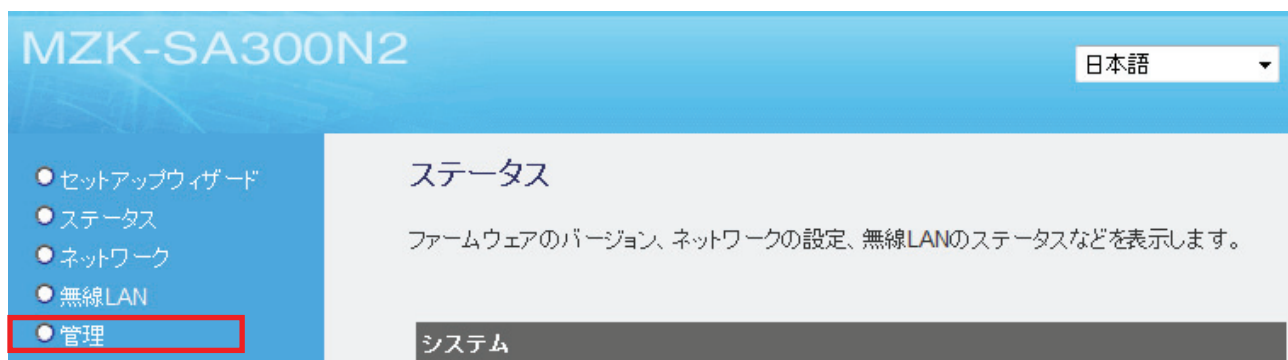
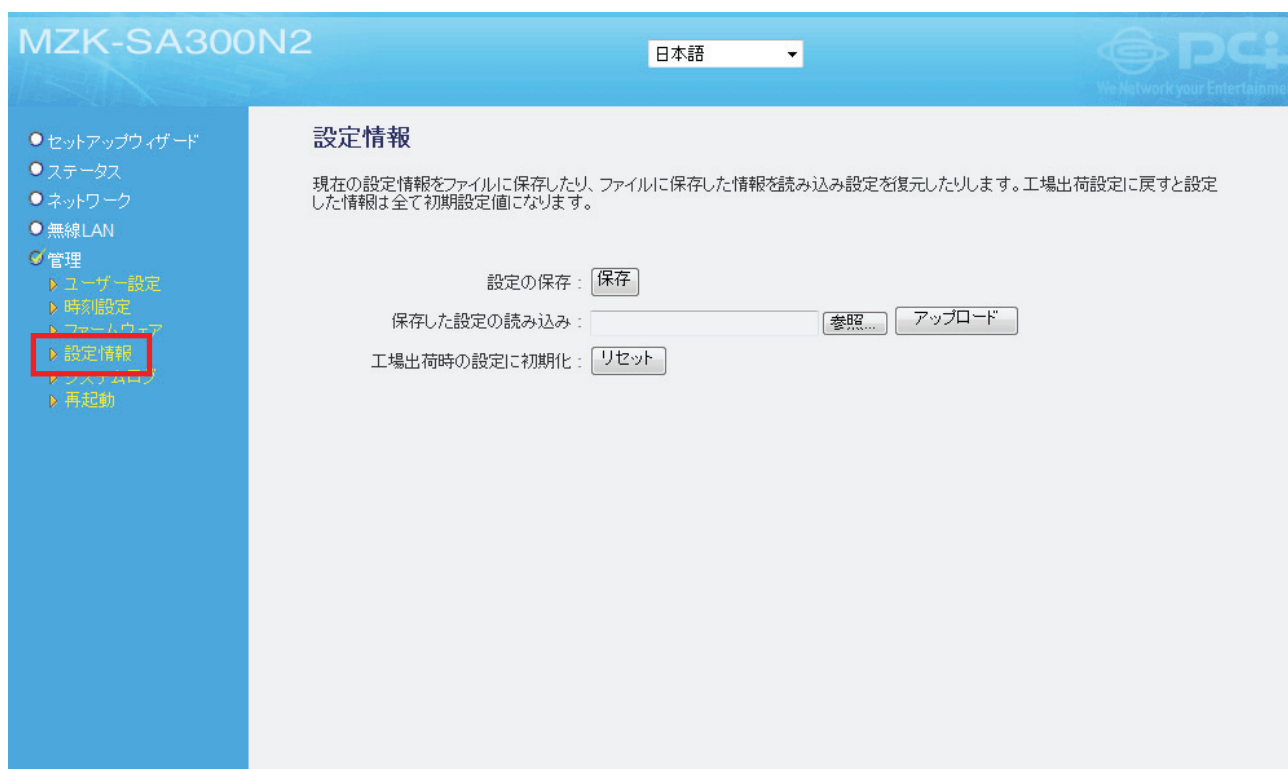
アップデートが完了しました。

ブラウザのページを更新すると再接続できます。失敗した場合は、2分ほど待ってからブラウザのページを更新してください。それでも失敗した場合は、本製品の電源を入れなおして再起動してください。

以上で設定の完了です。

6.3.4 バックアップ／リストア

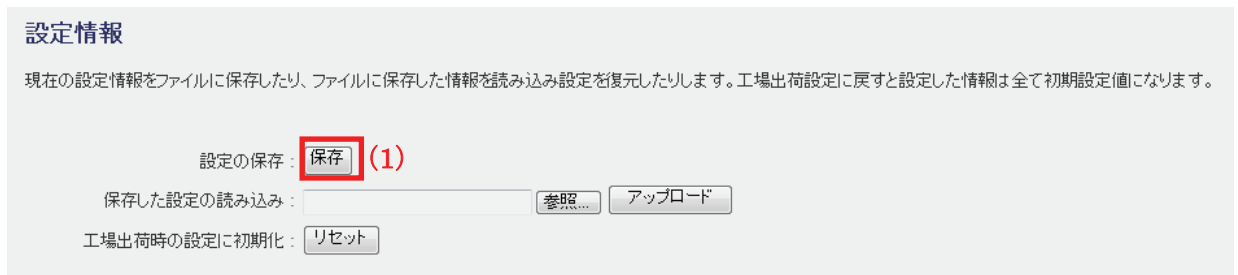
ここでは、現在の設定情報を保存や読み込み設定をします。

1. ［管理］をクリックします。

2. ［設定情報］をクリックします。

3. 設定します。

➢ バックアップをするときは、**【設定を保存するとき】**(P86)を参照してください。

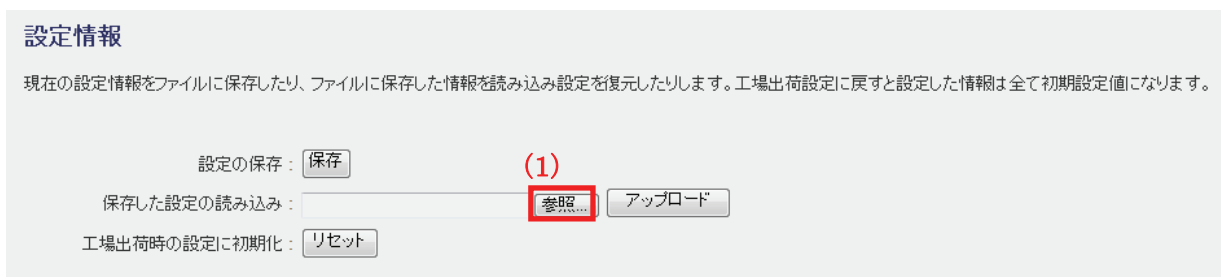
➢ リストアするときは、**【設定を復元するとき】**(P87)を参照してください。

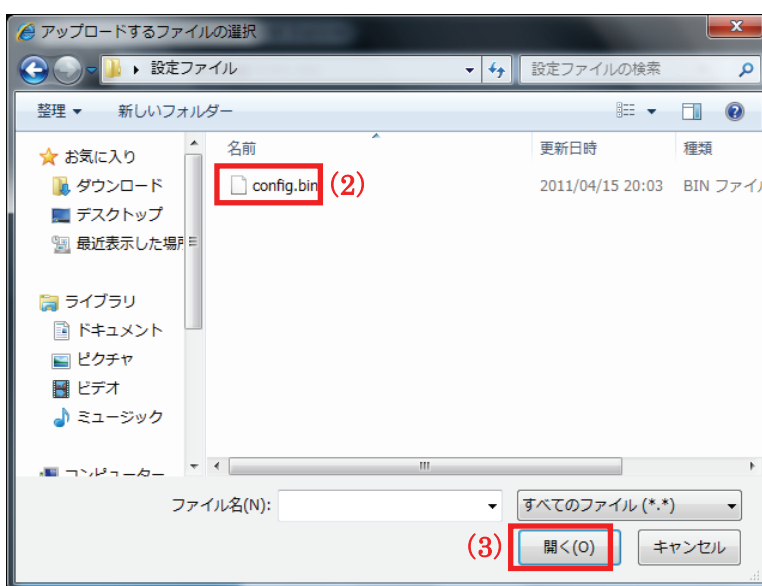
【設定を保存するとき】

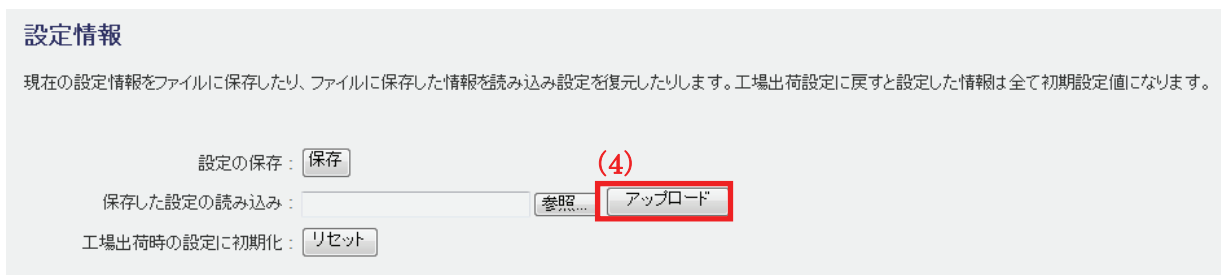
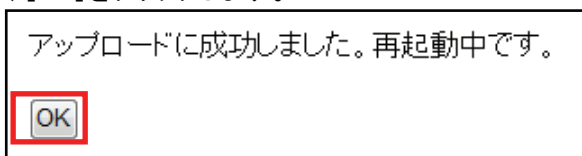
(1) [保存]ボタンをクリックします。

(2) 以下の画面が表示されますので、[保存(S)]をクリックして設定ファイルをハードディスクなどに保存します。

以上で設定の完了です。

【設定を復元するとき】

(1)[参照]をクリックします。

(2)予め保存した設定ファイルを指定します。

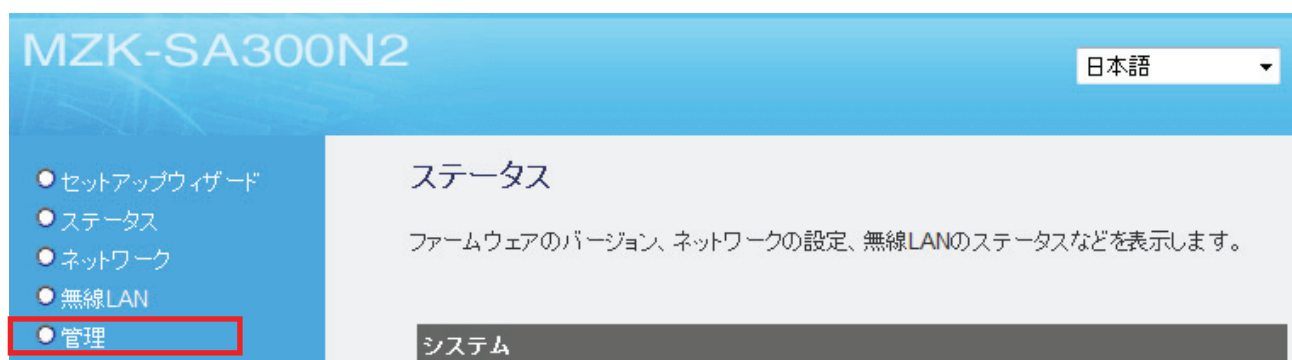
(3)[開く]をクリックします。

(4)[アップロード]をクリックします。

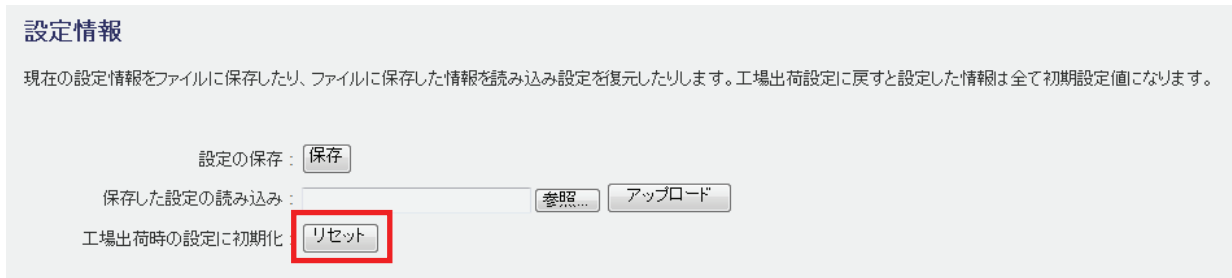
※再起動が終わるまで待ちます。

(5)[OK]をクリックします。

以上で設定の完了です。

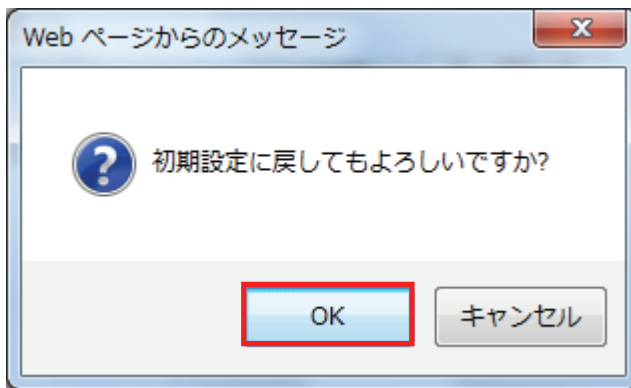
6.3.5 初期化

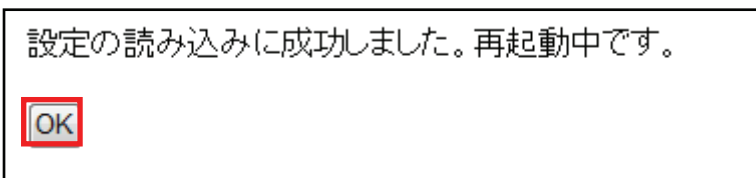
ここでは、本製品の初期化を行います。

※初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。
初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

1. ［管理］をクリックします。

2. ［設定情報］をクリックします。

3.　[リセット]をクリックします。

4.　「初期設定に戻してもよろしいですか？」と表示されるので、[OK]をクリックします。

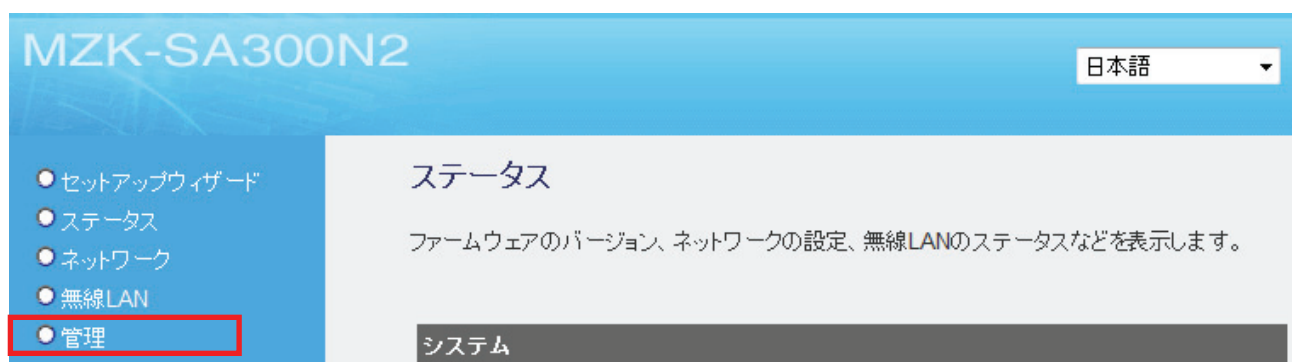
↓

本製品が再起動し初期化します。

※本製品が再起動するまで約 90 秒かかります。

5.　[OK]をクリックします。

以上で設定の完了です。

6.3.6 システムログ

「システムログ」画面で、本製品のシステムログ情報を表示します。

1. [管理]をクリックします。

2. [システムログ]をクリックします。

3.　ログを確認します。

各設定項目内容は以下の通りです。

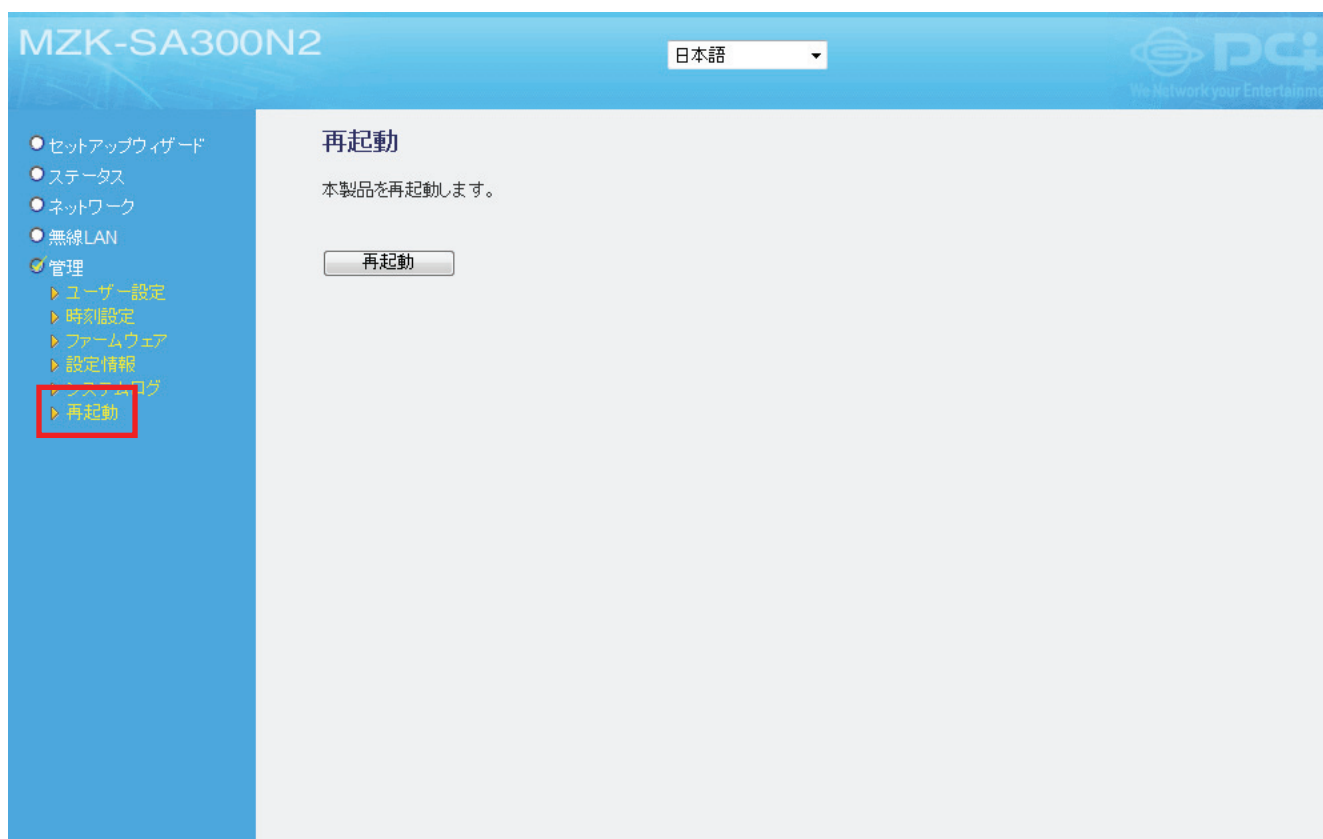
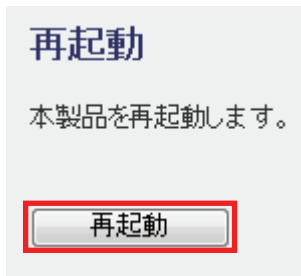
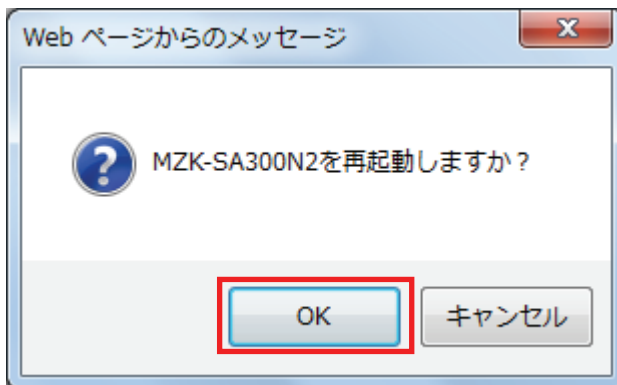
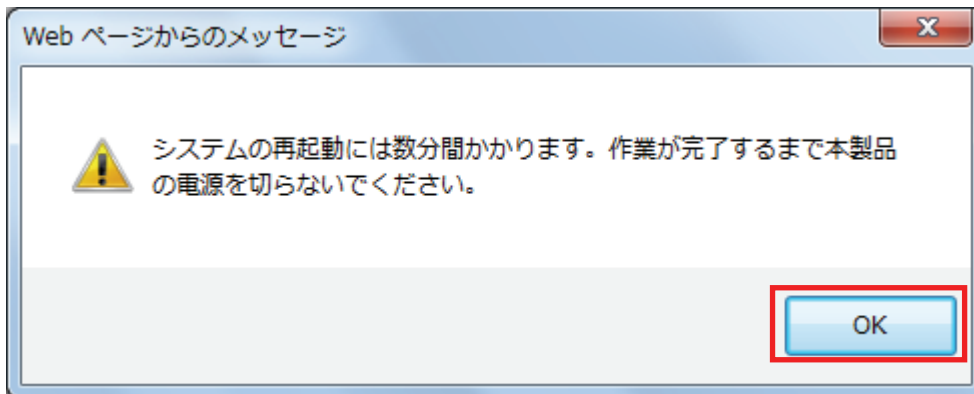
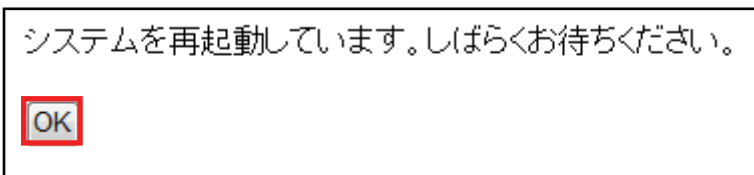
項目名	動作
消去	ログを消去します。
更新	最新の情報に更新します。

以上で設定の完了です。

6.3.7 再起動

「再起動」画面で、本製品を再起動することができます。

1. [管理]をクリックします。

2. [再起動]をクリックします。

3. ［再起動］をクリックします。

4. ［OK］をクリックします。

5. ［OK］をクリックします。

6. ［OK］をクリックします。

以上で設定の完了です。

6.4 ステータス関連

ここでは、ステータス関連の表示方法を説明します。
ステータス画面では、ファームウェアのバージョン、無線の構成、WAN の構成などを確認することができます。

6.4.1 ステータス

1. [ステータス]をクリックします。
   ※設定画面の表示方法については「第 5 章 5.1 設定画面の表示方法」を参照してください。

2. システム情報を確認します。

第 7 章：困ったときは

7.1 トラブルシューティング

もし本製品が正常に動作しないとき、販売店または弊社テクニカルサポートに連絡する前に、本章に記載されているトラブルシューティングをご確認ください。トラブルの解決に役立つ可能性があります。

症状	可能な解決策
電源が入らない	本製品の電源がはいらないときは、次の内容を確認してください。 ・ AC アダプタが正しく接続されているか ・ 同梱品以外の AC アダプタを使用していないか ・ 延長コードやタップを使用しないときはどうか ・ 他のコンセント差込口ではどうか ・ 正しい電源、電圧で使用しているか それでも改善されないときは、恐れ入りますが、本製品の不具合の可能性がございますので、同梱の「はじめにお読みください」裏面記載の保証規定を必ずご確認頂き、ご同意のうえで、修理を依頼してください。 ★同意頂けない場合は、ご購入の販売店にご返却ください。 但し、お客様の過失で製品にキズ、欠損、欠品などがある場合にはご返却できません。
設定画面にログインできない	設定画面にログインできないときは、次の内容を確認してください。 ・ IP アドレスは「自動取得」になっているか ・ WEB ブラウザにプロキシサーバーの設定をしていないか ・ WEB ブラウザでセキュリティを高く設定していないか ・ セキュリティソフトウェア（ウィルスチェック、ファイアウォールなど）を停止させて改善されるか ・ 本製品左側面のセキュリティスイッチが「OFF」側に切り替わっているか ・ ルータと正常に通信しているか ・ Wireless ランプ（LED ランプ）は点滅しているか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化し、再度ログインをお試しください。
インターネットに接続できない	インターネットに接続できないときは、次の内容を確認してください。 ・ 設定後すぐにはつながらないとき、2～3 分程待って再度試して改善するか ・ パソコンの IP アドレスは自動取得になっているか ※設定方法は「7.3.1　自動設定」を参照してください。 ・ すべての機器の電源を OFF にして、60 分ほどそのままの状態にして改善するか ・ IP アドレスでホームページにアクセスできるか ※ブラウザのアドレスに「http://210.197.79.10」と入力して<Enter>を押して、弊社（プラネックス）のホームページが表示されるか確認してください。

	・　セキュリティソフトウェア（ウィルスチェック、ファイアウォールなど）を停止させて改善されるか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、セットアップウィザードをお試しください。
無線 LAN がつながらない	無線 LAN がつながらないときは、次の内容を確認してください。 ・　本製品と無線 LAN クライアント（子機）との間に距離がないか ・　本製品と無線 LAN クライアント（子機）との間に障害物がないか ・　電子レンジの傍で接続をしていないか ・　本製品の Wireless ランプ（LED ランプ）は点滅しているか ・　無線 LAN アダプタが搭載のパソコンで、無線 LAN のスイッチがオフになっていないか ・　無線 LAN が無効になっていないか ・　ワイヤレスネットワークの IP アドレスが手動設定になっていないか ・　無線 LAN クライアント（子機）に設定されている SSID および無線 LAN セキュリティ設定は本製品と同じになっているか ・　ルータ側の無線チャンネルを変更して改善されるか ・　無線 LAN 子機が WPS に対応しているか（WPS ボタンを使用した無線 LAN 接続時） ・　無線 LAN 接続後、設定を変更していないか ・　他の無線 LAN クライアント（子機）で本製品に無線接続ができるか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、クイックセットアップをお試しください。

7.2 初期化の方法.

次のようなときは、本製品を工場出荷時状態に戻していただき、再度設定をお試しください。

- 接続方法、パソコン側の設定を見直しても、設定画面にログインできないとき
- 接続方法、パソコン側の設定を見直しても、インターネットに接続できないとき
- 本製品の IP アドレスを変更し、変更後の IP アドレスを忘れてしまったとき
- お客様が設定された内容を元に戻したいとき

注意：初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。
初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。
2. 本製品側面のリセットボタンを 10 秒以上長押しして、「Power」ランプが点滅したら、リセットボタンから離します。
3. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動したら初期化の完了です。

7.3 IP アドレスの設定.

7.3.1　自動設定

パソコンの IP アドレスを DHCP サーバから取得する方法に設定します。
お使いの OS を参照してください。

- Windows 7 のとき……………………………… 「7.3.1.1　Windows 7」
- Windows Vista のとき……………………………「7.3.1.2　Windows Vista」
- Windows XP のとき………………………………「7.3.1.3　Windows XP」
- Mac OS X のとき……………………………… 「7.3.1.4　Mac OS X」

7.3.2　手動設定

パソコンの IP アドレスを手動で設定します。
お使いの OS を参照してください。

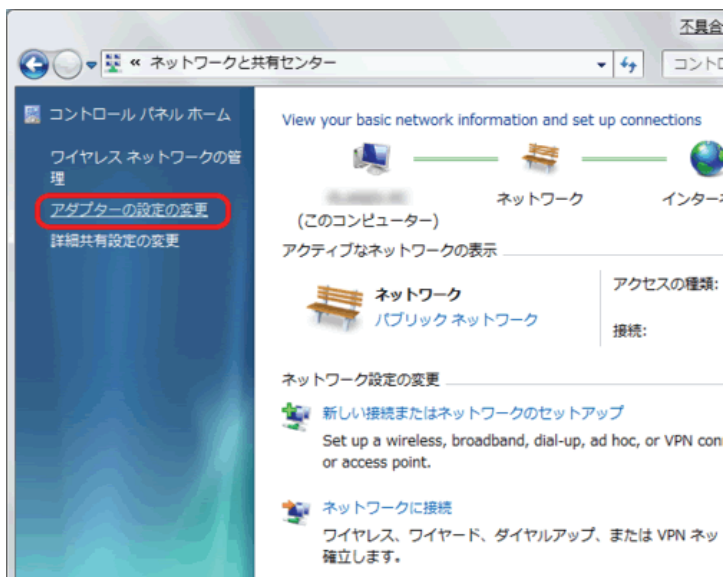
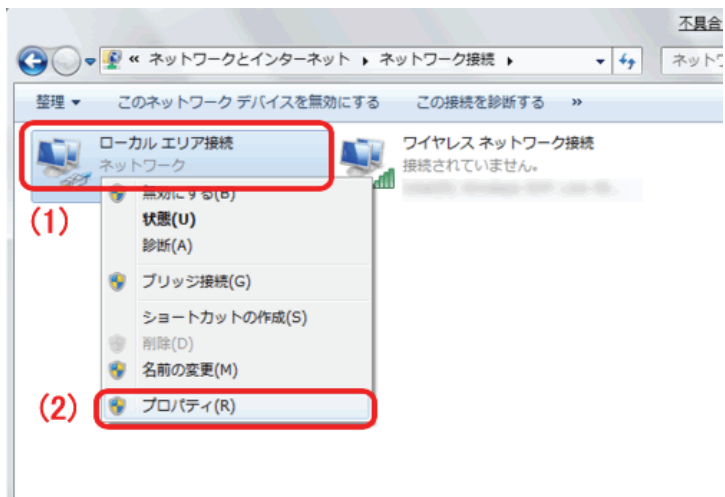
- Windows 7 のとき……………………………… 「7.3.2.1　Windows 7」
- Windows Vista のとき……………………………「7.3.2.2　Windows Vista」
- Windows XP のとき………………………………「7.3.2.3　Windows XP」
- Mac OS X のとき……………………………… 「7.3.2.4　Mac OS X」

7.3.1 自動設定

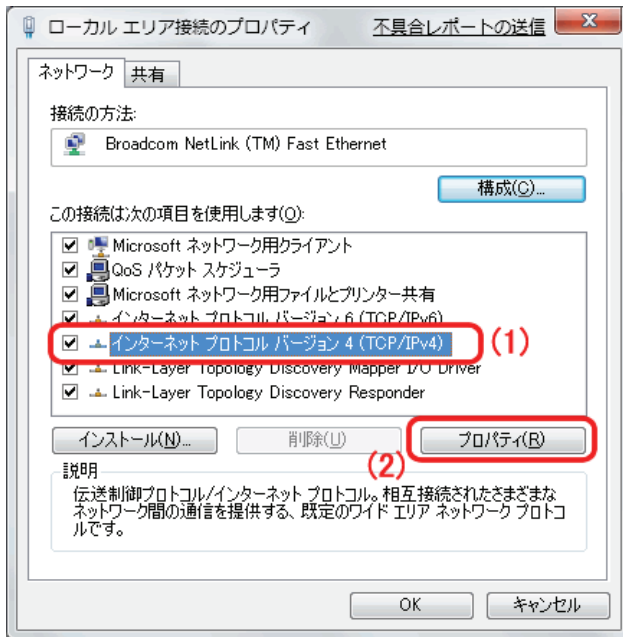
7.3.1.1 Windows 7

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※アイコン表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。

4. (1)「ローカルエリア接続」を右クリックします。

(2)「プロパティ」をクリックします。

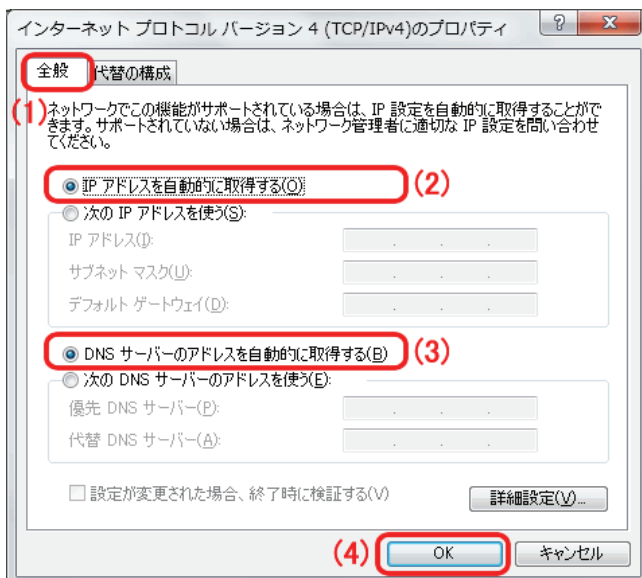
5. (1)「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選びます。

(2) [プロパティ]をクリックします。

6. (1)「全般」タブをクリックします。

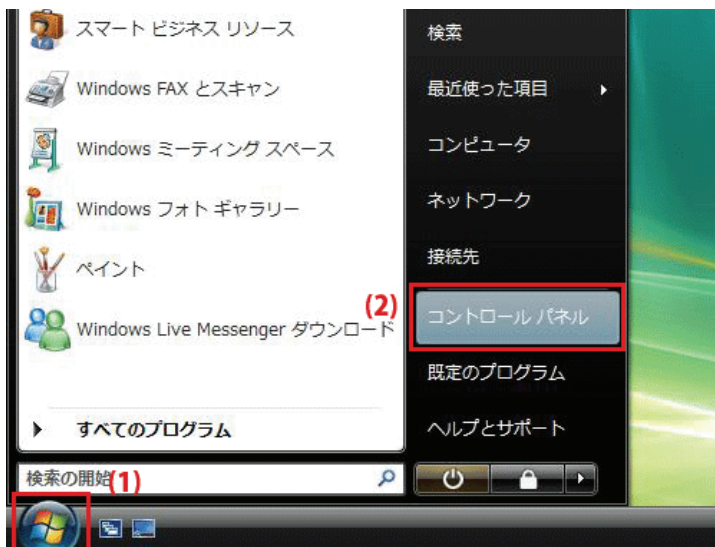
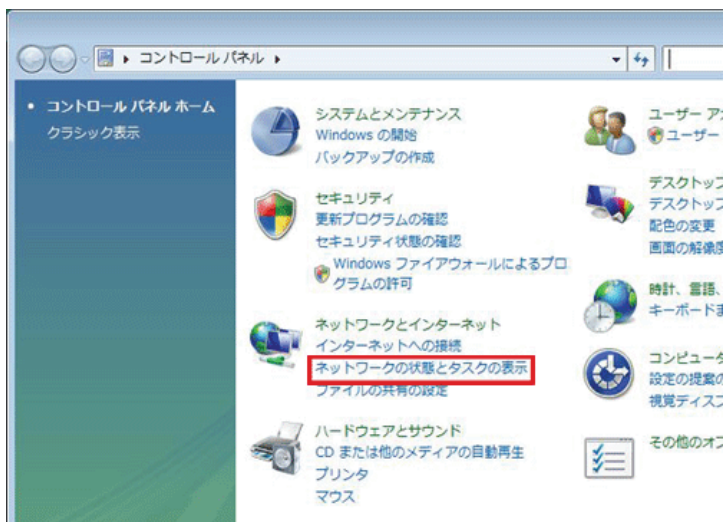
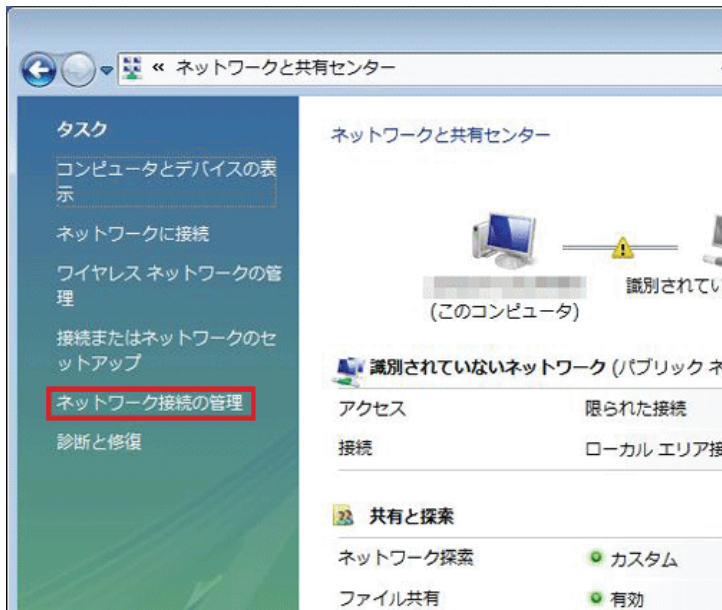
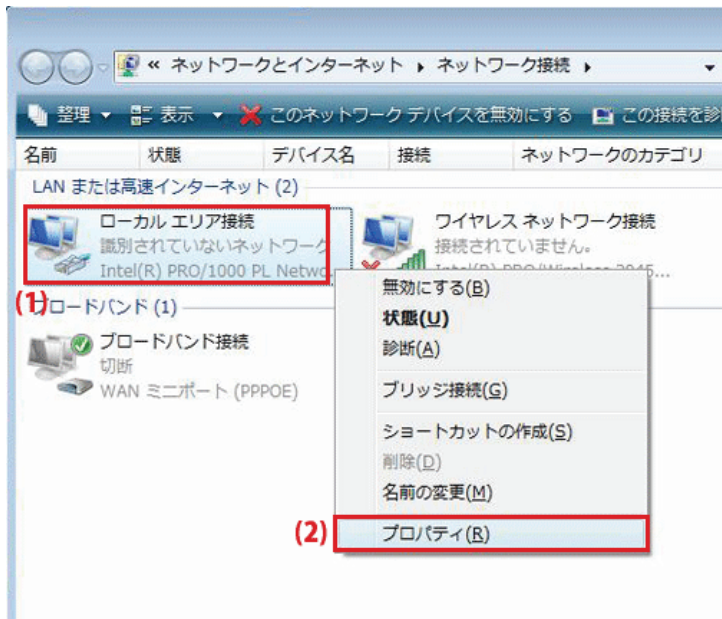
(2)「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

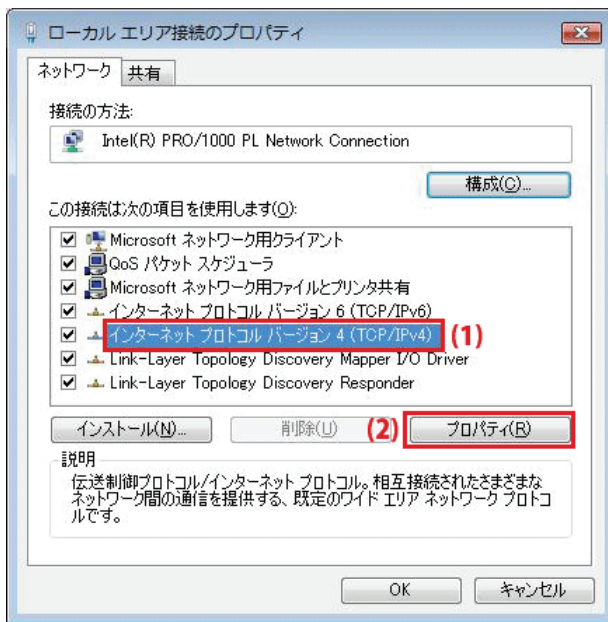
(3)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

(4) [OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

7. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

7.3.1.2 Windows Vista

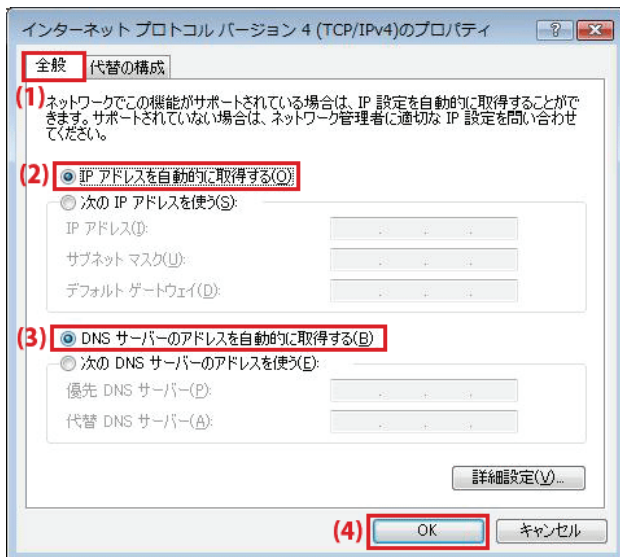
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※クラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。

5. 「ユーザーアカウント制御」が表示されます。
   [続行]をクリックします。

6. 「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選び、[プロパティ]をクリックします。

7. （1）「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

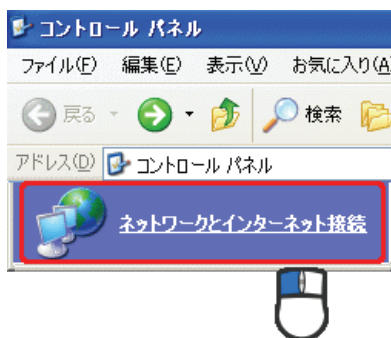
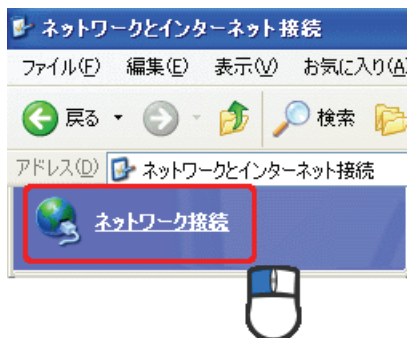
（2）「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

（3）「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

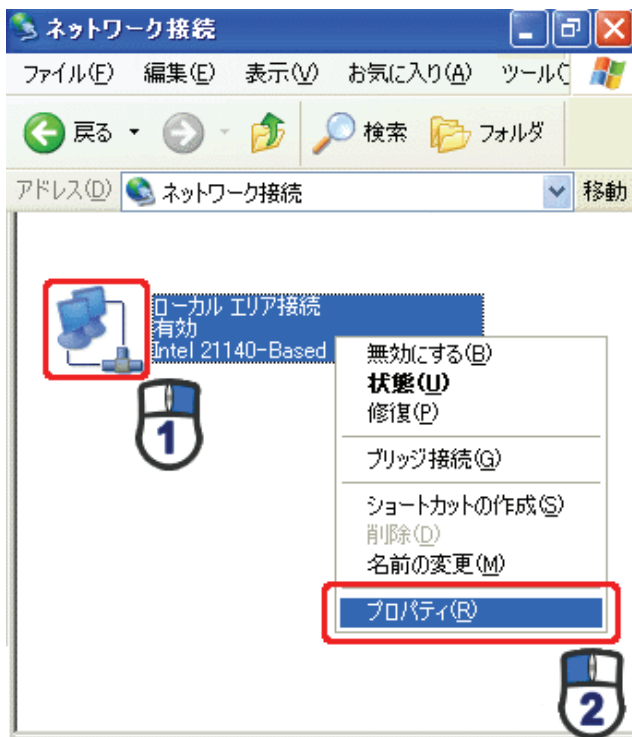
（4）[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

8. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

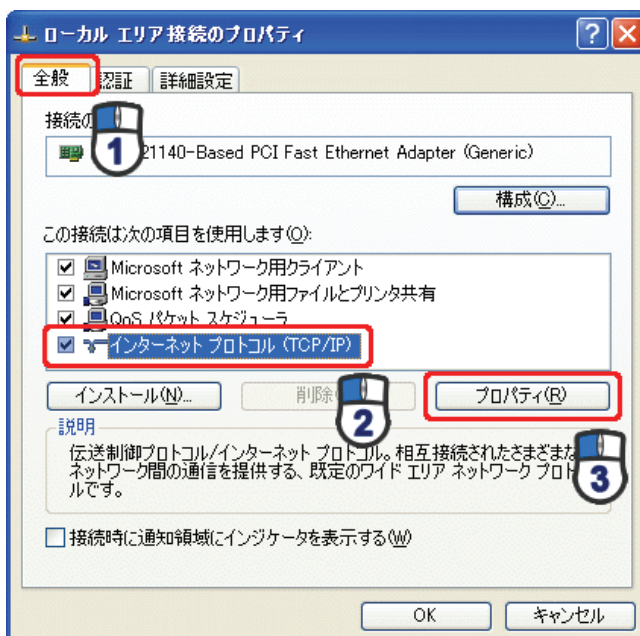
7.3.1.3 Windows XP

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

3. 「ネットワーク接続」をクリックします。

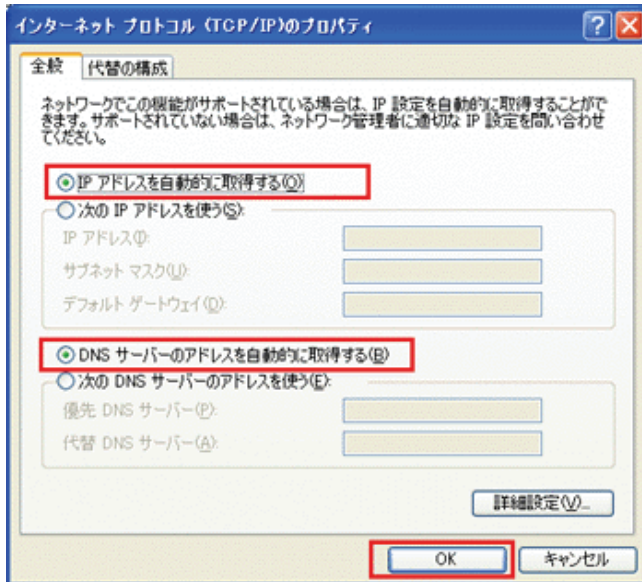
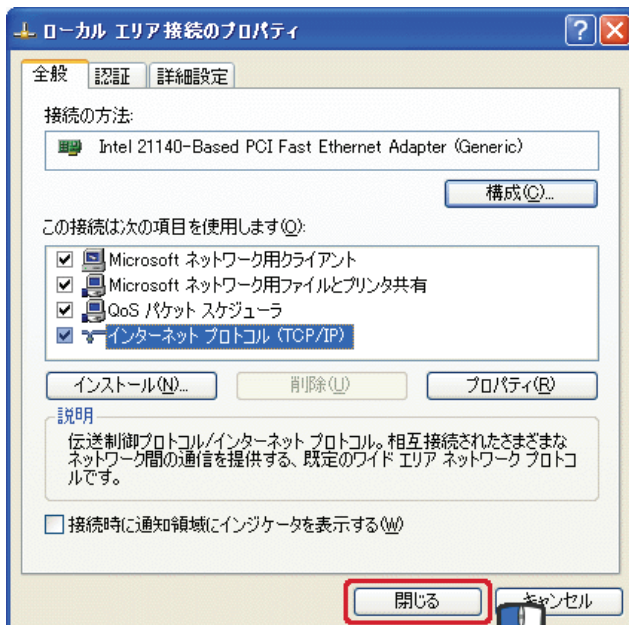
4. 「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

5. (1)「全般」タブをクリックします。

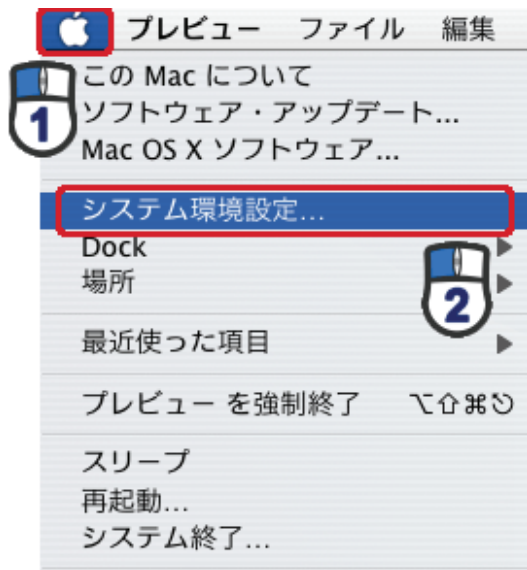
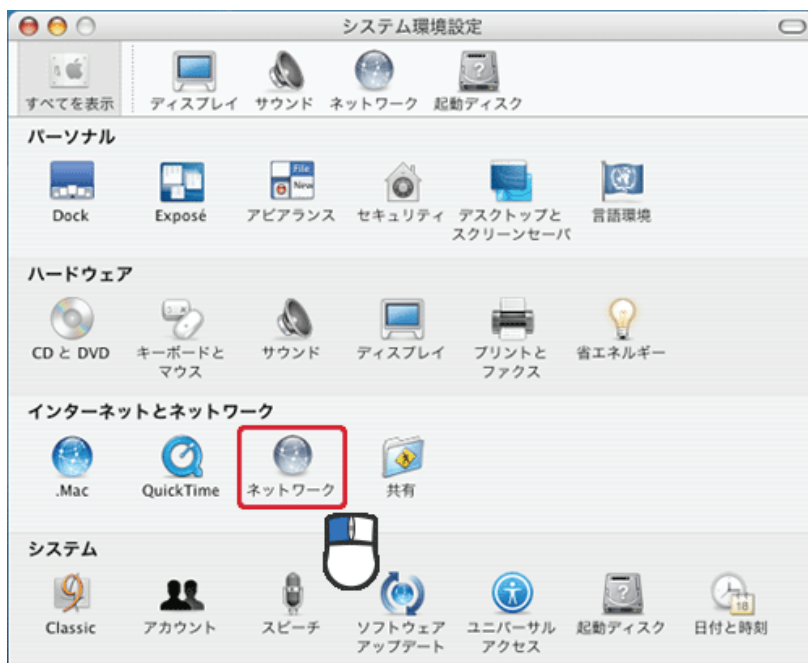
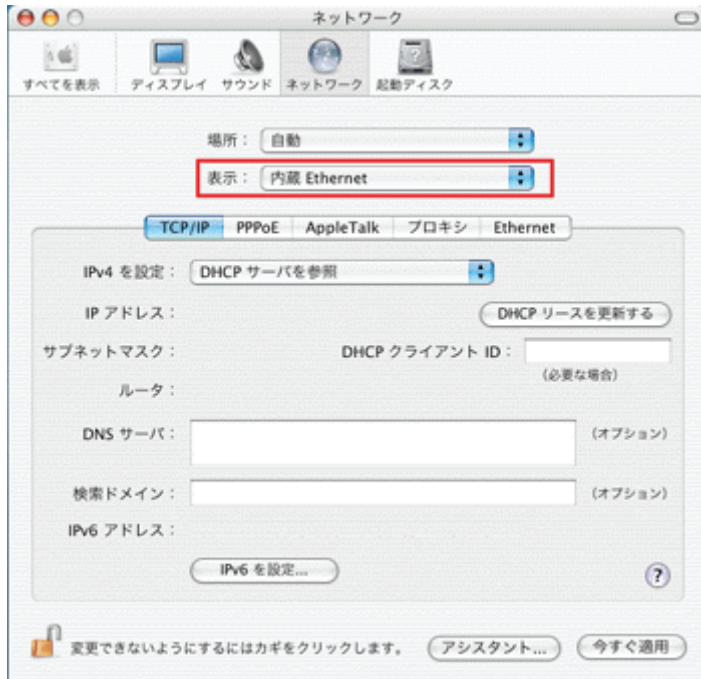
(2)「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選びます。

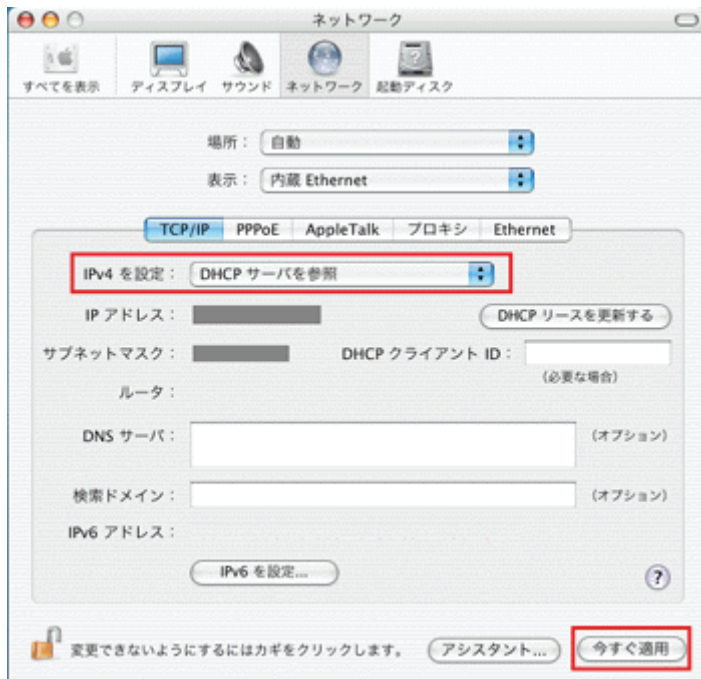
(3)[プロパティ]をクリックします。

6. （1）「IP アドレスを自動的に取得する」にチェックを入れます。

（2）「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れます。

（3）［OK］をクリックします。

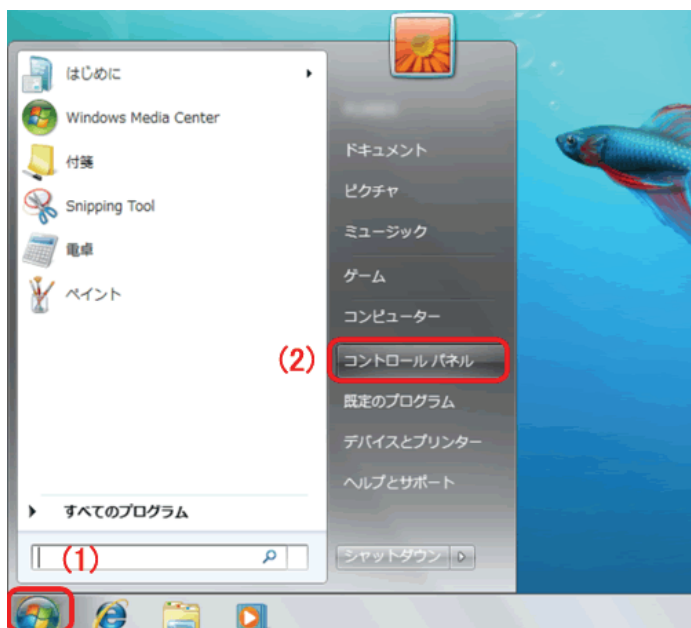
※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

7. ［閉じる］をクリックします。

7.3.1.4 Mac OS X

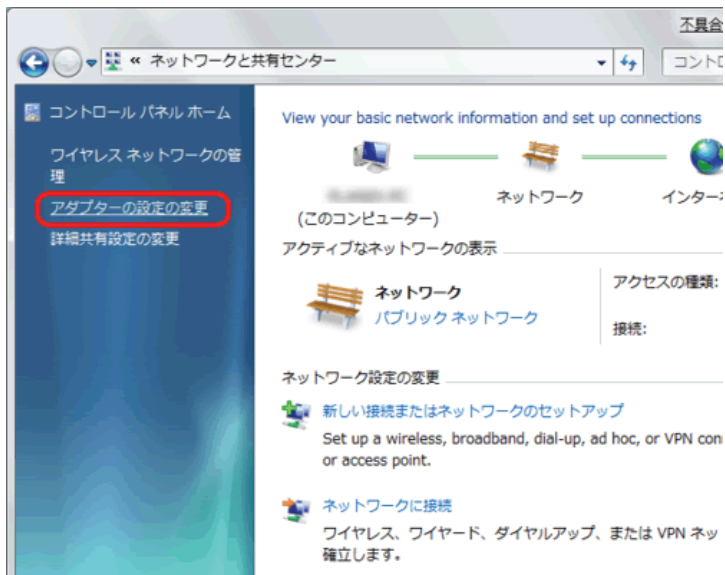
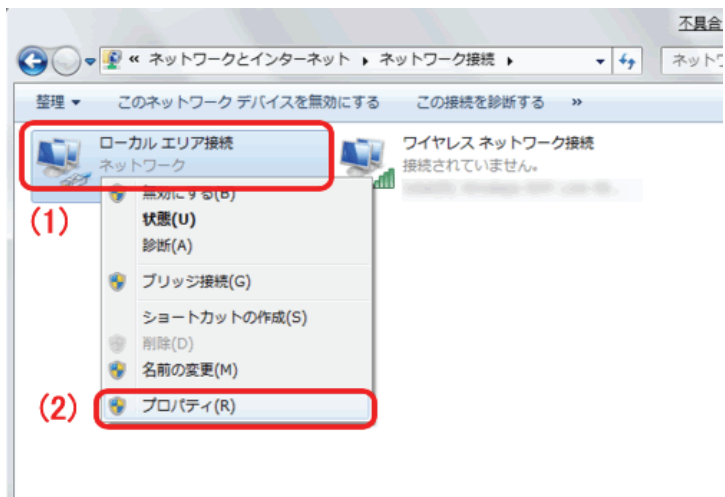
1. 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。

2. 「インターネットとネットワーク」の 「ネットワーク」をクリックします。

3. 「ネットワーク」の画面が表示されます。
「表示」欄から「（内蔵）Ethernet」を選択します。

※[DHCP サーバを参照]が表示されていないときは、[PPPoE]タブをクリックし、「PPPoE を使って接続する」のチェックをオフにします。

4. 「TCP/IP」タブの「IPv4 を設定」欄から「DHCP サーバを参照」を選択します。

5. [適用]をクリックします。

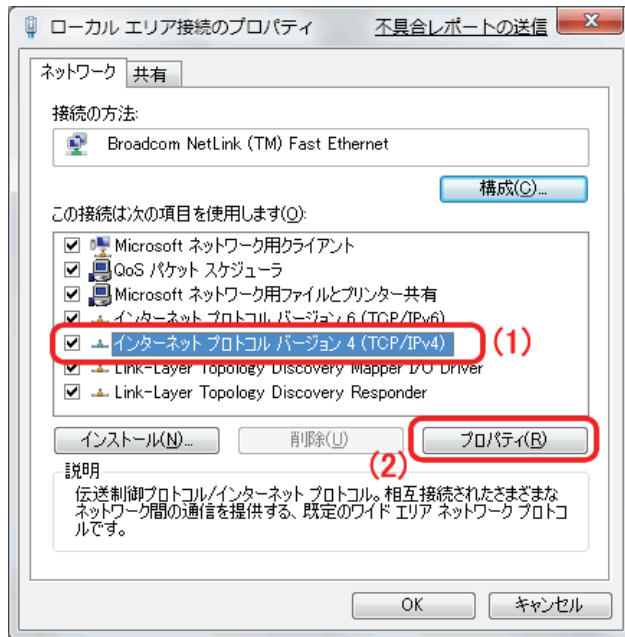
7.3.2 手動設定

7.3.2.1 Windows 7

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※アイコン表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。

4. (1)「ローカルエリア接続」を右クリックします。

(2)「プロパティ」をクリックします。

5. (1)「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選びます。

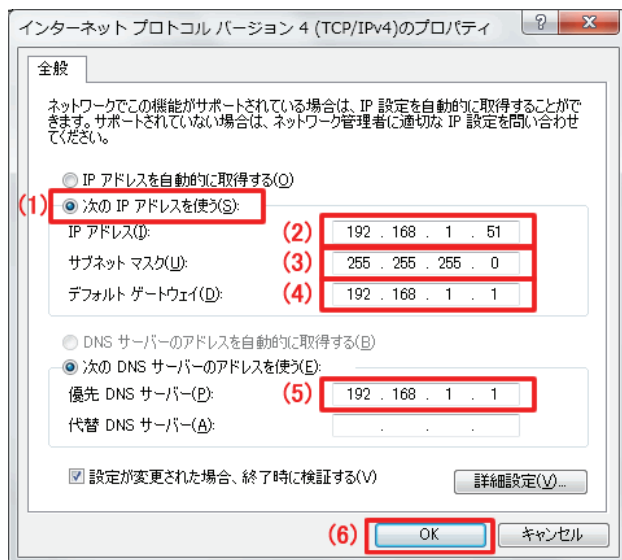
(2) [プロパティ]をクリックします。

6. (1)「全般」タブをクリックします。

(2)「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

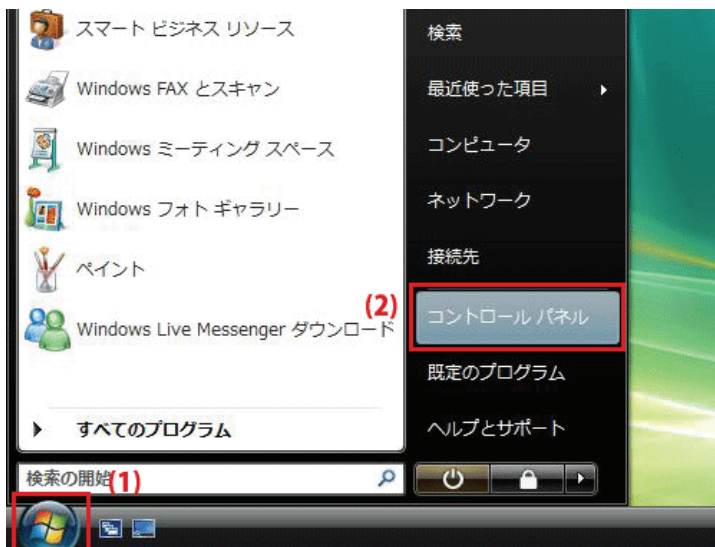
(3)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

(4)［OK］をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。

7. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

7.3.2.2 Windows Vista

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※クラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。

5. 「ユーザーアカウント制御」が表示されます。
[続行]をクリックします。

6. 「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選び、[プロパティ]をクリックします。

7. （1）「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

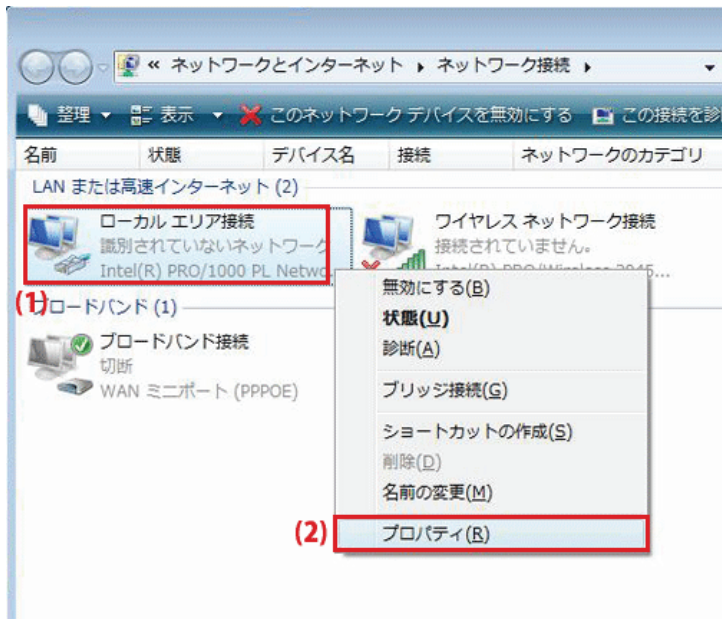
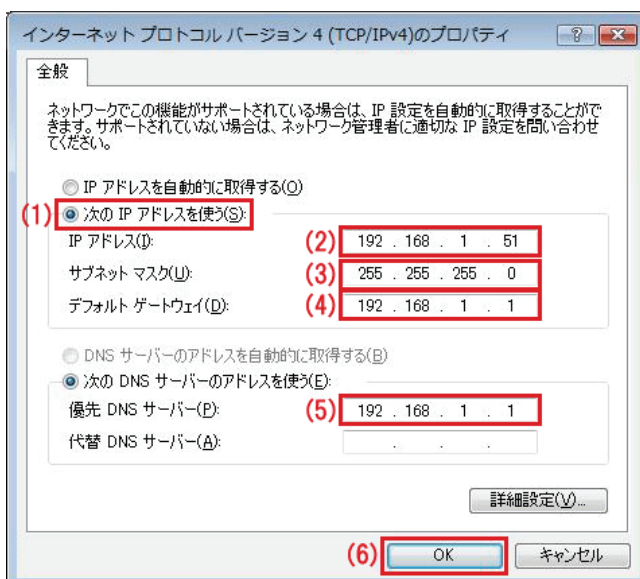
（2）「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」（「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨）と入力します※。

（3）「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

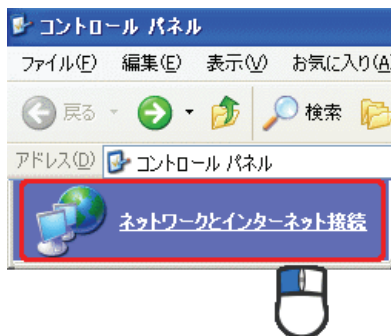
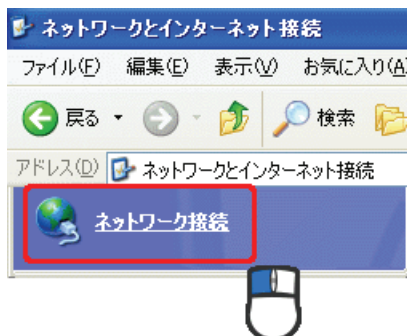
（4）「デフォルトゲートウェイ」に「192.168.1.1」と入力します。

（5）「優先 DNS サーバー」に「192.168.1.1」と入力します。

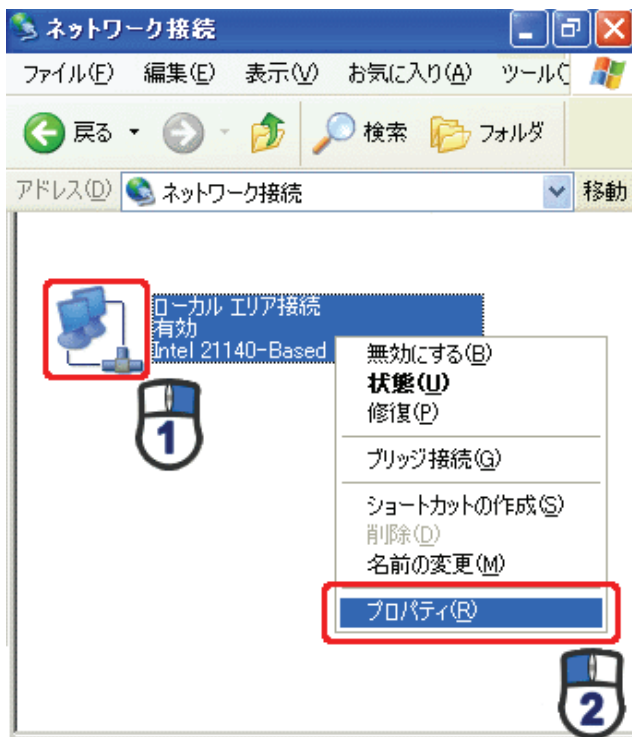
（6）[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。

8. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

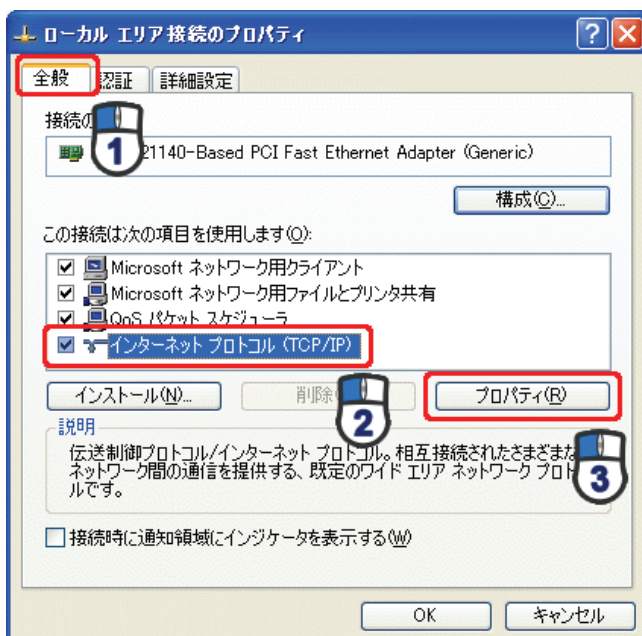
7.3.2.3 Windows XP

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

3. 「ネットワーク接続」をクリックします。

4. 「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

5. (1)「全般」タブをクリックします。

(2)「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選びます。

(3)[プロパティ]をクリックします。

6. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

(2)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」(「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨)と入力します ※。

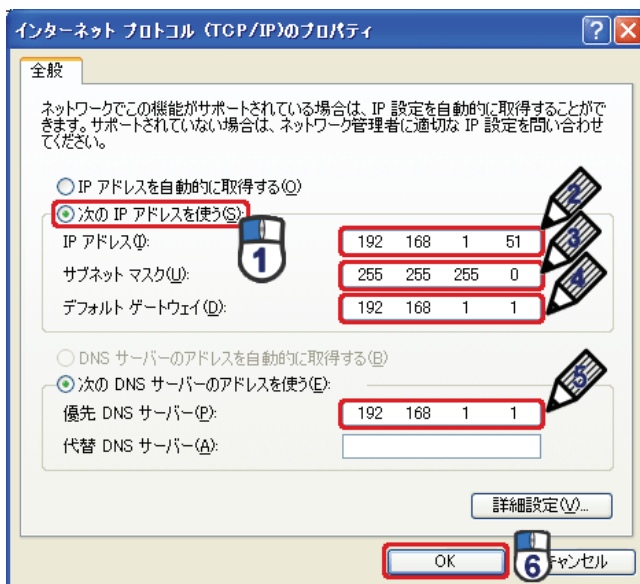
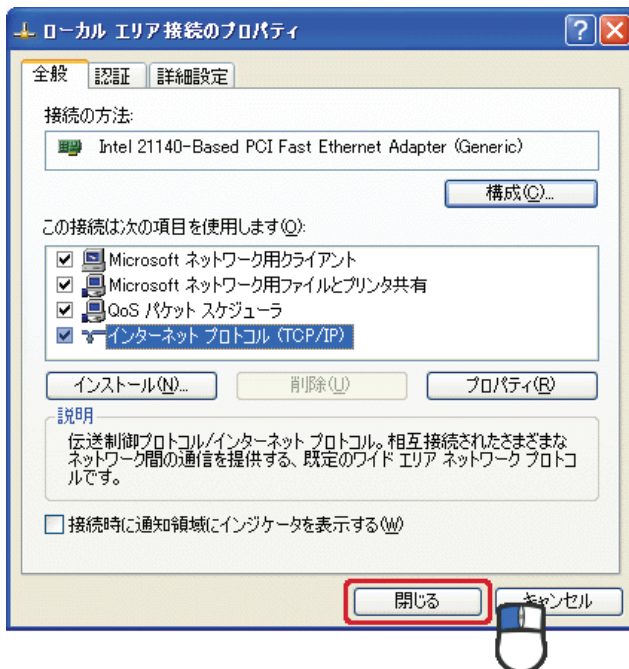
(3)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

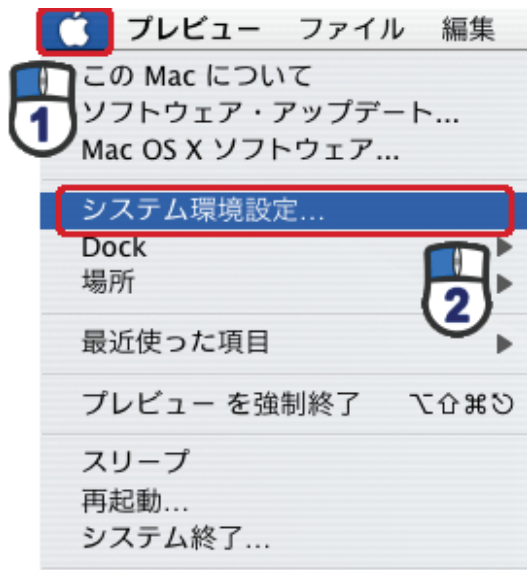
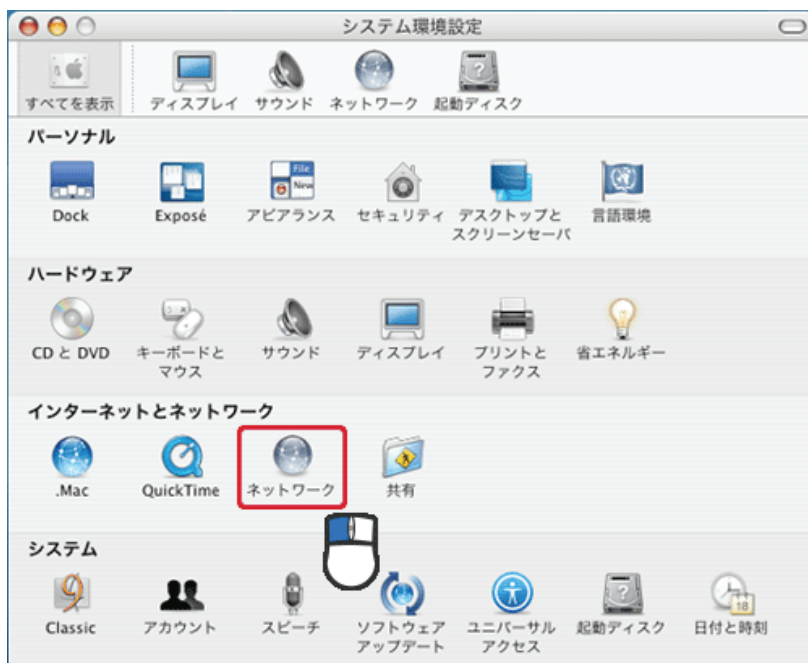
(4)「デフォルトゲートウェイ」に「192.168.1.1」と入力します。

(5)「優先 DNS サーバー」に「192.168.1.1」と入力します。

(6)[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。

7. [閉じる]をクリックします。

7.3.2.4 Mac OS X

1. 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。

2. 「インターネットとネットワーク」の 「ネットワーク」をクリックします。

3. (1)「表示」から「内蔵 Ethernet」を選びます。

(2)「TCP/IP」タブをクリックします。

(3)「IPv4 を設定」から「手入力」を選びます。

(4)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」(「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨)と入力します※。

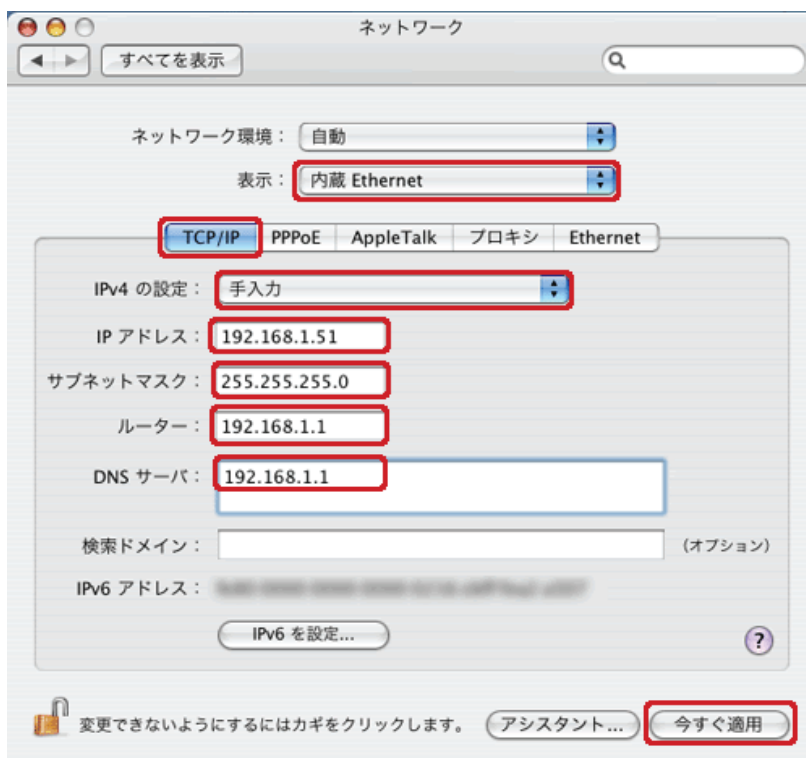
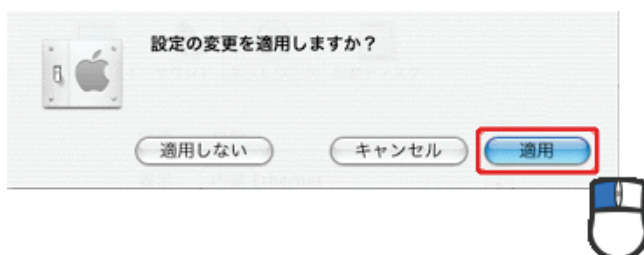
(5)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

(6)「ルーター」に「192.168.1.1」と入力します。

(7)「DNS サーバ」に「192.168.1.1」と入力します。

(8)[今すぐ適用]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。

4. [適用]をクリックします。

第 8 章:製品仕様

型番	MZK-SA300N2
無線部仕様	
対応規格	IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b
チャンネル数	1～13ch
周波数帯域	2.4GHz 帯(2,412～2,472MHz)
伝送速度	IEEE802.11n(40MHz) :最大 300Mbps
	IEEE802.11g:54、48、36、24、18、12、9、6Mbps
	IEEE802.11b:11、5.5、2、1Mbps
伝送方式	IEEE802.11n:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11g:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11b:直接拡散型スペクトラム拡散(DSSS 方式)
アンテナ利得	2dBi
アンテナ	内蔵アンテナ 2 本(2T2R)
アクセス方式	インフラストラクチャモード
自動無線設定機能	WPS
セキュリティ	WPA2-PSK(暗号化方式:TKIP)
	WPA2-PSK(暗号化方式:AES)
	WPA-PSK(暗号化方式:TKIP)
	WPA-PSK(暗号化方式:AES)
	WEP(キー長:64bit/128bit、キーフォーマット:ASCII/Hex)
	無効(暗号なし)
有線部仕様	
対応規格	IEEE802.3u(100BASE-TX)
	IEEE802.3i(10BASE-T)
インターフェース	RJ-45 ポート×2(LAN×2)、USB ポート
伝送速度	100/10Mbps(オートネゴシエーション)
ネットワークケーブル	100BASE-TX:カテゴリ 5 以上
	10BASE-T:カテゴリ 3 以上
ソフトウェア仕様	
LAN 設定	固定 IP アドレス(手動設定)
	DHCP サーバ(有効/無効)
省エネ設定	EEE、ActiveECO
ハードウェア仕様	
ハードウェアスイッチ	WPS ボタン、Reset ボタン、

	モード切り換えスイッチ（off/separate on/security on）
LED	Power、WPS、Wireless
消費電力	最大約 2.3W
電源	DC 5V 1A
外形寸法	約 75.0（W）×28.8（H）×65.6（D）mm ※突起部を除く
重量	約 60g
動作時環境	温度：0～40℃
	湿度：10～90％（結露なきこと）
保存時環境	温度：-20～60℃
	湿度：10～90％（結露なきこと）
その他	
ログ機能	システムログ、セキュリティログ
対応 OS	Windows 7（32bit/64bit）/Vista（32bit/64bit）/XP
	Mac OS X 10.6/10.5/10.4（CPU :Intel/PowerPC support）
各種設定方法	WEB ブラウザ
保証期間	1 年間

■注意事項

※WEB ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。

※WPA/WPA2 を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPA または WPA2 に対応している必要があります。

※WPS を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPS に対応している必要があります。

※無線チャンネル幅は初期値が 20MHz となっています。40MHz（理論値 300Mbps）を使用する場合は WEB 設定画面にて、20/40MHz のモードに変更してください。

※表示の数値は、Wi-Fi 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。最新情報は、弊社ホームページ（http://www.planex.co.jp）を参照ください。

第 9 章:お問合せ先

●サポート Q&A 情報(FAQ、よくある質問と答え)

ご質問の前に、まずサポート Q&A 情報をご覧ください。

お問い合わせの情報が掲載されているかお確かめください。

http://faq.planex.co.jp/

●オンラインマニュアル

最新版のマニュアルを参照できます。

http://www.planex.co.jp/support/download/index_manual.shtml

●技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

＜お問い合わせフォーム＞

http://www.planex.co.jp/support/techform/

受付:24 時間

＜サポートダイヤル＞

0570-064-707

受付:月～金曜日、10 ～ 12 時、13 ～ 17 時(※祝祭日および弊社指定の休業日を除く)

＜ FAX ＞

0570-088-194

受付:24 時間

●弊社製品の追加購入〈PLANEX DIRECT〉

弊社製品のご購入は、販売店様または PLANEX DIRECT まで。

ケーブル 1 本からレイヤ 3 スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

http://direct.planex.co.jp/

●製品に関するお問い合わせ〈ご質問/ お見積もりフォーム〉

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

http://www.planex.co.jp/lan.shtml

●その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

http://www.planex.co.jp/

上記内容は 2011 年 4 月現在の情報です。

内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

第 10 章:索引

D

DHCP サーバ 56

I

IP アドレスを確認(Mac OS X のとき) 32
IP アドレスを確認(Windows 7／Vista のとき) 26
IP アドレスを確認(Windows XP のとき) 29
IP アドレス自動設定(Mac OS X) 109
IP アドレス自動設定(Windows 7) 100
IP アドレス自動設定(Windows Vista) 103
IP アドレス自動設定(Windows XP) 106
IP アドレス手動設定(Mac OS X) 120
IP アドレス手動設定(Windows 7) 111
IP アドレス手動設定(Windows Vista) 114
IP アドレス手動設定(Windows XP) 117

L

LAN 設定 54

N

NTP サーバの設定 79

S

Separate mode 21
SSID を非表示にする 44

W

WDS 45
WEP 38
WPA 39
WPA2 39
WPS 65
WPS 接続【PBC 方式のとき】 68
WPS 接続【PIN 方式のとき】 70
WPS 接続【WPS ボタンのとき】 66

あ

アクセスコントロール 63

い

インターネットの設定 22

か

各部の名称とはたらき 16

く

グリーン AP 72

こ

工場出荷時の設定値 20

さ

再起動 92

し

時刻の設定 80
システムログ 90
初期化 88, 98

す

ステータス 94

せ

製品仕様 122
セキュリティスイッチ 21
セキュリティ設定 62
設定画面の表示方法 24

ち

チャンネル 61

と

トラブルシューティング 96

は

パスワードの変更 75
バックアップ 85

ふ

ファームウェア更新 82

ま

マルチ SSID 40

む

無線 LAN 基本設定 58
無線 LAN セキュリティ 34
無線 LAN の接続設定 23
無線モード 60

ゆ

ユーザ名の変更 75

り

リストア 85

●ご注意：ご使用の際は必ず商品に添付された取扱説明書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。